"オール関大"の燃える日！

10月28日 54年度校友総会

学園祭(千里)教育懇談会(大津)も

昭和五十四年度校友総会は、十月二十八日午前九時五十分から、大阪北区の中之島中央公会堂で開催される。初の市民参加の祭典にむけて、趣旨徹底のため樫本校友会長は在阪マスコミ各社を歴訪された。地元の東、西、南、北各支部校友の呼びかけも活発である。この日は関西大学教育後援会が、大津市で"大学と家庭のかけ橋"を祈念する「教育懇談会」も開かれるという。さらに母校・千里山キャンパスでは二十五日からはじまった「学園祭」の最終日。多くの市民が家族連れでつめかけることであろう。校友総会は午後四時まで。学園祭のフィナーレ、ファイヤ・ストームは午後六時三十分からである。できれば、同窓相い集ったあとは、ともに"ヤマ"へ馳せ参じ、後輩学生のたぎるばかりの心意気を温かい目で見守るのもまた一興ではなかろうか。大西・新校友学長を迎え、校友、教職員、学生、父兄。それに浪速の市民も加わった親和の心に守られて"紫紺の征旗"が、秋空高くはためくことを期待してやまない。

校友総会プログラム

映画　10・0～10・30　「飛鳥とともに」

講演　10・30～11・30　文学部　横田健一教授

総会　11・30～12・30　会務報告　母校近況　顕彰

昼食　13・0～14・0

アトラクション・福引　14・0～16・0　小野永一朗・校友(鶴田浩二)歌謡ショウ。応援団吹奏楽部。グリークラブ。

会場のご案内

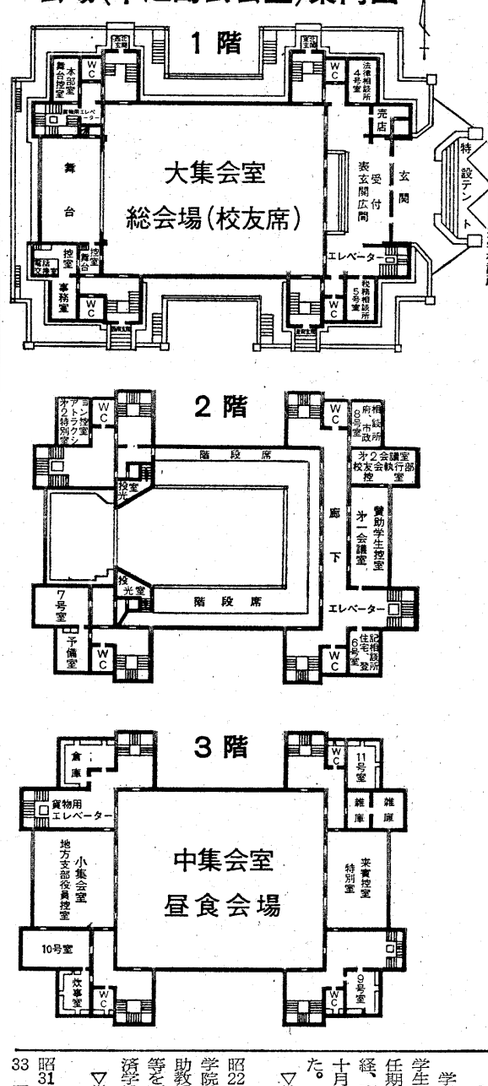
会場(中央公会堂)の市民無料相談所を除いた案内

〈1階〉受付　表玄関広間　総会場(校友席)　大集会室　本部室　北西隅の舞台控室

〈2階〉市民席　賛助学生控室　第1会議室(東)　執行部控室　第2会議室(東)　アトラクション関係者控室　北西隅の第2特別室

〈3階〉来賓控室　特別室(東)

会場(中之島公会堂)案内図



地方支部・役員控室　小集会室

昼食会場　中集会室(西)　なお2階7号室(南西)、3階9号室(南東)、10号室(南西)、11号室(北東)の部屋も適宜利用下さい。

法律相談(公会堂表玄関を入り広間を右に曲がった1階4号室)
▽藤村睦美(昭34学一法)▽力野博之(同)▽柴山登之(昭39学一法)▽視前俊宏(昭45学一法)▽中辻　章(昭49学二商)の五弁護士

◇税務相談(公会堂表玄関を入り広間を左に曲がった1階5号室)
▽上田高徳(昭25学二商)▽木村　功(昭22専一商)▽石川昌司(昭39院修商)の三公認会計士▽川崎宗一(昭38学一経)▽縄田　惇(昭41学一経)▽羽賀順一(昭48院修商)の三税理士

◇発明相談(公会堂入口前の特設テント内)
▽奥村文雄(昭34学二法)▽清水久義(昭41学一法)▽畑岸義夫(昭43学二法)▽倉内義朗(昭44学一法)▽上代哲司(昭48学工金)の五弁理士

◇住宅・登記相談(公会堂1階、東南隅の6号室)
▽津田義雄(昭27学一商)▽中野英満(昭27学一法)▽榎本正人(昭38学一経)の三不動産鑑定士

法律・税務・発明など市民無料相談所

市民無料相談所(9・50～11・20)の開設場所と担当校友名(進学相談は関大職員)

◇府、市政相談(公会堂2階、東北隅の8号室)
▽平田泰造(昭19大商)▽寺西武(昭24大法)▽佐々木砂夫(昭27院修法)の三大阪府議
▽多賀谷　宏(昭18大法)▽大西仙太郎(昭33短)▽井上英夫(昭31高)の三大阪市議

◇法律相談(公会堂表玄関を入り広間を右に曲がった1階4号室)
▽藤村睦美(昭34学一法)▽力野博之(同)▽柴山登之(昭39学一法)▽視前俊宏(昭45学一法)▽中辻　章(昭49学二商)の五弁護士

◇税務相談(公会堂表玄関を入り広間を左に曲がった1階5号室)
▽上田高徳(昭25学二商)▽木村　功(昭22専一商)▽石川昌司(昭39院修商)の三公認会計士
▽川崎宗一(昭38学一経)▽縄田　惇(昭41学一経)▽羽賀順一(昭48院修商)の三税理士

◇発明相談(公会堂入口前の特設テント内)
▽奥村文雄(昭34学二法)▽清水久義(昭41学一法)▽畑岸義夫(昭43学二法)▽倉内義朗(昭44学一法)▽上代哲司(昭48学工金)の五弁理士

◇住宅・登記相談(公会堂1階、東南隅の6号室)
▽津田義雄(昭27学一商)▽中野英満(昭27学一法)▽榎本正人(昭38学一経)の三不動産鑑定士

◇府、市政相談(公会堂2階、東北隅の8号室)
▽竹田操司(昭26学一法)▽柳原一善(昭34学一法)▽上野義治(昭43学二法)の三司法書士

◇進学相談(公会堂入口前の特設テント内)
関西大学　▽田尾駟次・文学部事務長▽丸山良彦・入試課主任▽大島征次・入試課主事
関大一高　▽魚谷嘉孝教務主任
関大一中　▽永瀬和夫教務主任

発行人　関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話 06(388)1121代表
振替口座大阪55594番

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館ぴっ
心斎橋店2階
メガネ大学堂
●京橋店●心斎橋店
●阪神百貨店●虹のまち店

一カ月に二千校友

新聞発行の協力金を

九月はじめに文書郵送でお願いした「新聞発行協力金・五千円」について、この一カ月間で、はや二千名を超える校友のみなさんから温かいご拠出をいただきました。ありがとうございました。

ご送金とともに紙面への多くのご注文、激励をつけており、一層充実した"手作り新聞・関大"に取り組む決意であります。

なお文書郵送校友は四万余人でありますが、校友会財政をご賢察のうえ、ご協力下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

新聞発行協力金協替校友のご芳名は四面に順次掲載させていただきます。

二〇九三件　千四十六万五千円(九月十二日から十月十五日受付分まで)。

▽**総計**(五十二年から)　**六千三百九十九件　三千二百三十八万七千円**。

4教授に文学博士号

工学部の2君にも学位記

関西大学では九月二十七日午後二時から、関大会館二階の貴賓室で学位記授与式を行い、中　学長から、有坂隆道、大西昭男、大庭脩、網干善教の四文学部教授に、文学博士号を授与した。

また、これまでに大学院博士課程の所定単位を取得、論文を出していた大学院工学生の大畑哲司、南部信義の両君にも工学博士号が授与された。

有坂教授の論文は「日本洋学史の基礎的研究」、大西教授(十月一日から学長)は「ヘンリー・ジェームズの文学」、大庭教授は「秦漢の法制史研究」、網干教授は「終末期古墳の研究」となっている。

有坂氏ら四教授の学位記授与は通常、"論文・博士"と称せられているもので、関西大学では木村健助・名誉教授を第一号として、網干教授が第五十三号。これまで法学五、文学十七、経済三、工学二十八名の博士が生まれている。

これに対して大畑、南部両君のものは"コース・博士"といわれている。四十四年に第一号として授与。専攻は商法。

▽文学部長　藤井　啓行　昭和三年九月二十二日生
昭27　東京大学文学部。同大学院に在学。昭34　助教授。昭40　教授。専攻は近代独乙文学。
▽経済学部長　鶴鳴　雪嶺　昭和一二年八月八日生
昭26　京都大学経済学部卒。昭31　同大学院(研究奨学生)修。昭35　助教授。昭43　教授。後進国開発論を専攻。
▽商学部長　大橋　昭一　昭30　和歌山大学経済学部。昭32　神戸大学大学院修。昭38　助教授。昭45教授。経営学専攻。経営学博士。
▽関西大学経済・政治研究所長　教授・経　高木　秀玄(再)
▽大学院社会学研究科長　教授　野崎　治男
▽法学部長代理　教授　森井　暐
▽経済学部長代理　教授　原田　聖二
▽商学部長代理　教授　馬渕　透
▽工学部長代理　教授　友田　泰行
▽教学部長代理　教授・社　大石　準一
▽学生部長代理　教授・法　森　省三
教授・文　中島　巌
助教授・経　森岡　孝二
教授・商　藤田　彰久
教授・社　神谷　国弘
助教授・工　藤村　侯夫

教学部長ら決まる

学長が推薦する親任職の教学、学生、就職の各部長、図書館長に任期満了その他による法、文、経、商の各学部長などの役職者が十月一日付で次のように決まった。

▽教学部長　東井　正美　大正十年九月十日生
昭22　関西大学経済学部卒。同大学院、京都大学院に在学。昭30　助教授。昭36　教授。経済学部長等を歴任。専攻は農業経済学。経済学博士。
▽学生部長　植松　健郎　昭七年十一月二十四日生
昭31　大阪市立大学文学部卒。昭33　同大学院修。昭41　助教授。昭49　教授。現代独乙文学専攻。
▽就職部長　宮谷　義六　大正五年十一月二十七日生
昭14　京都薬学専門学校卒。昭37　助教授。昭40　教授。専攻は非鉄冶金学。工学博士。
◇図書館長　大庭　脩　昭和二年一月二十日生
昭25　龍谷大学文学部卒。昭28　同大学院修。昭35　助教授。昭40　教授。文学部長等を歴任。専攻は日中交渉史。文学博士。
▽法学部長　菱田　政宏　昭和六年八月三十一日生
昭29　京都大学法学部卒。昭34　東京大学大学院博士課程修(法学博士)。昭35　助教授。昭42　教授。専攻は商法。
▽文学部長　藤井　啓行　昭和三年九月二十二日生
昭27　東京大学文学部卒。同大学院に在学。昭34　助教授。昭40　教授。専攻は近代独乙文学。
▽経済学部長　鶴鳴　雪嶺　昭和一二年八月八日生
昭26　京都大学経済学部卒。昭31　同大学院(研究奨学生)修。昭35　助教授。昭43　教授。後進国開発論を専攻。
▽商学部長　大橋　昭一　昭30　和歌山大学経済学部。昭32　神戸大学大学院修。昭38　助教授。昭45教授。経営学専攻。経営学博士。
▽関西大学経済・政治研究所長　教授・経　高木　秀玄(再)
▽大学院社会学研究科長　教授　野崎　治男
▽法学部長代理　教授　森井　暐
▽経済学部長代理　教授　原田　聖二
▽商学部長代理　教授　馬渕　透
▽工学部長代理　教授　友田　泰行
▽教学部長代理　教授・社　大石　準一
▽学生部長代理　教授・法　森　省三
教授・文　中島　巌
助教授・経　森岡　孝二
教授・商　藤田　彰久
教授・社　神谷　国弘
助教授・工　藤村　侯夫

11人の"対話里親"を登録

事業部の留学生支援運動

十月十三日に開かれた備後支部の総会には"ベトナム校友"のクアック・タン・ジョーン君らが出席し、先輩の温かい励ましをうけた。

ジョーン君はホ・チ・ミン市(旧サイゴン市)の出身。昭和四十七年に関大工学部電子工学科に入り、五十三年、大学院修士課程を修了した。母国の政変で「帰国しても活躍の場がない」と帰国を断念した。といって日本の企業も、なかなか受け入れてくれない。大阪で知り合い恋愛結婚した奥さんの実家福山市山手町二八八五で、現在、英数塾を開いている。

事業部では十月九日の第三回目の部会で、模索中だった"対話里親"を本格的に推進することを決めた。とりあえず十一名の部員全員が"里親"の登録をした。

一般校友へも、この機会によびかけ、関心を高めることにした。留学生"対話里親"にご応募下さる校友は、はがきで、校友会事務局まで、お願いします。

行事と集い

●**関西大学物故者慰霊祭**　11月2日(金)　午前11時　関西大学会館北側慰霊碑前
●**関甲倶楽部総会**　11月2日(金)　午後6時　関電会館
●**堺支部総会**　11月9日(金)午後5時半　堺東駅前　楓林閣
●**東京支部総会**　11月9日(金)　午後6時　港区白金台・八芳園
●**大阪国税秀麗会**　11月10日(土)　午後2時　大阪リバーサイドホテル
●**京都府支部総会**　11月11日(日)　祇園ホテル
●**天六同友会研修会**　11月17日　原子力発電所と三方五湖めぐり

司法試験合格者

女子・ふぐむ九名

女子校友一名をふくむ九名が、本年度の司法試験合格者。ことしは現役学生がふえたといわれるが、残念ながら本学にはなかった。昨春の卒業者が二人。

司法試験合格者
▽**大阪国税局**　昭49高一・昭53学一　巡田　淳(昭49高一・昭53学一法)▽藪口隆(昭53学一法)▽浅倉陽子(昭52学一法)▽村田鋭治(昭51学一法)▽中斐孝雄(昭50学一法)▽大仲土和(昭48学一法)▽野田英二(昭48学一法)▽田村一己(昭44学一法)。

公認会計士に三名

公認会計士第二次試験の合格者が、このほど発表された。昨年度は該当者なしだったが、ことしは三名。商学部の在学生一名が難関を突破した。

公認会計士第二次試験の合格者
▽石黒　訓(商学部四年次在学)
▽玉置栄一(昭53学一経)▽因幡賢(昭44学一経)

葬の雫

欧米でもアジア諸国でも"学位のない大学教授"は摩訶不思議な存在でしかない。日本の学者世界だけが、この博士号に、おおむね冷やかな態度のようだ▼でも無関心なのかとみると、そうでもなさそうだ。祝賀会での様子が、まことによく物語ってくれる。「日頃から恩師に、学者の義務だと励まされてきましたが、やっとこれで」と感激で声をつまらせる先生をお見受けする。さわやかである。「ひとつのけじめでして、これからが本当の研究生活」とさりげなく語られる方も、常日ごろの謹厳さとはうらはらに、ほおはゆるみっぱなし。まことにほほえましい▼世間では喜びがさらに増幅される。「クラスメートが博士になった。俺もいい大学を出たんだワ」。晩酌のお銚子を一本多くつけさせ"準博士"気取りの校友の話もある。"博士"学長の卒業証書をもらうんだ。"博士"教授の推薦状を持って就職戦線を突破だ？という学生も現実にはいる。たわいないといえばそれまでだが、人生への取り組みに気迫を与えた意味合では、校友へはなによりの贈りものになる▼これほど感動を生む博士号も、日本の大学内では大して尊重されているわけではない。昇任や昇給には学位は関係なく、日々研鑽の実力第一主義がとられている。とはいうが、地位の昇進が安易な年功序列で行なわれ、延いては論文執筆の難行への逃避となっていないならば、結構なことだといわなければならない。しかし国際的にはますます通らなくなるだろう▼大学の国際親善の手立に"名誉博士"の授与が使われることがある。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の終身常任指揮者のカラヤン氏に早稲田大学から名誉博士号が贈呈された。芸術への顕著な貢献による。授与式のあと、そのタクトで「都の西北」の大合唱がくりひろげられた▼また教授陣に学位取得者の少くない本学。名誉博士の制度がないのもやむをえまい。しかし昨年度から、法学部で上林、槙(東北大で)、岸井の三教授。横田先生に続いて今回四人の授与があった文学部など。本学はいま"学位"に燃えている。

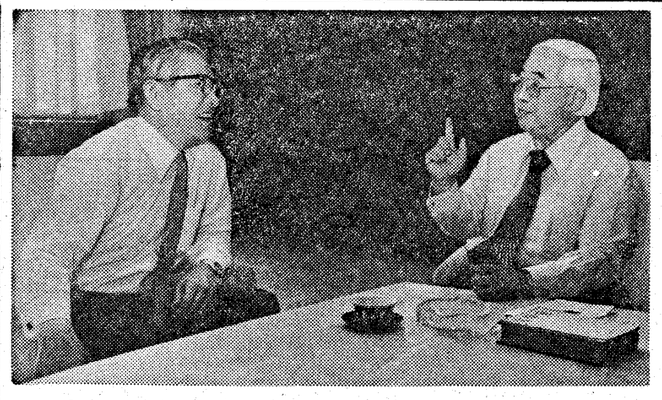
お時間拝借

校友あれこれ対談

(85)

聞き手　吉田三七雄

関大学長・文学博士　大西　昭男氏



関大の心で…歓談はとどまるところをしらない大西学長(左)と吉田理事

文武両道 多芸多才 "関大で愛される人間に"の傑物

吉田　学長ご就任と、文学博士の学位授与というおめでたが二つ重なったことを、まず心からお祝い申し上げます。

大西　有難うございます。そんなに丁重なお言葉を頂戴すると、どうお礼申し上げてよいのか、言葉に詰まってしまいます。

吉田　言葉に詰まってしまわれると、こっちが困ってしまうんです。うんとしゃべってもらわんと、対談にならんのです。(笑い)

大西　分かりました。本当はえらいしゃべりで、しゃべり出すとキリが無いほうなんです。適当にストップかけて下さい。(笑い)

吉田　これで安心。(笑い)どんどんしゃべって下さい。気に入らんことは、こっちで遠慮なく切り捨てますから。(笑い)とにかくザックバランにいきましょう。

大西　そんなら、まず上着を脱がしてもらいます。(間)これでスッとしました。(笑い)

吉田　やっぱり、ええとこあるなあ。(笑い)さて、あなたは関大三十代目の学長で、校友学長としては五代目学長ということになりますねえ。

大西　そうらしいですねえ。

吉田　それに、昭和元年十二月二十九日生まれということだから、昭和生まれの学長が初めて誕生したということになりますな。こっちのほうは、だんだん年数がたっているんだから、特に珍しいことじゃないわけだが……。

大西　生年月日までお調べになってるんですか？

吉田　なんでも調べてます。

大西　だんだんコワクなってきました。(笑い)どうか、お手やわらかに願います。(笑い)

吉田　新学長としての抱負と、信念、今後の方針といった、いわゆる固い話は、これからいろんなところで述べられ、発表されると思いますので、きょうは「校友あれこれ対談」ということで、あなたの横顔についてうかがいます。

大西　わたしの横顔？…、いや、横顔も真正面も、どちらも自信ありませんねえ。(笑い)

吉田　あなたは柔道も剣道も相当な腕前だそうだから、こっちから斬り込んでゆくのを、パッパッと受け流してもらえばいいんです。なんでも、柔道剣道合わせて五段ということだが、こりゃあいったいどういうことなんです？

大西　柔道剣道の段を合わせると五段ということになるんですが、今じゃどっちもあきません。積古するどころか、逃げ出すのに精いっぱいというところです。(笑い)若い頃は、満州大陸でひと暴れしたいと思い、そのために柔道も剣道もやりました。大阪の天王寺商業の出身ですが、その天商で当時中国語が正課でしたので、一生懸命勉強して満州に渡りました。しかし、わたしの志通りにうまくゆかなかったので、帰ってきて関大専門部の二部に入り、さらに京大へ入学して、卒業後関大文学部の助手になり、それからずっと五代目学長ということになるんですが、今じゃどっちもあきません。

吉田　なんでも調べてます。

大西　だんだんコワクなってきました。(笑い)どうか、お手やわらかに願います。(笑い)

吉田　新学長としての抱負と、信念、今後の方針といった、いわゆる固い話は、これからいろんなところで述べられ、発表されると思いますので、きょうは「校友あれこれ対談」ということで、あなたの横顔についてうかがいます。

大西　わたしの横顔？…、いや、横顔も真正面も、どちらも自信ありませんねえ。(笑い)

吉田　あなたは柔道も剣道も相当な腕前だそうだから、こっちから斬り込んでゆくのを、パッパッと受け流してもらえばいいんです。なんでも、柔道剣道合わせて五段ということだが、こりゃあいったいどういうことなんです？

大西　柔道剣道の段を合わせると五段ということになるんですが、今じゃどっちもあきません。

吉田　言葉に詰まってしまわれると、こっちが困ってしまうんです。うんとしゃべってもらわんと、対談にならんのです。(笑い)

大西　分かりました。本当はえらいしゃべりで、しゃべり出すと止まらんのです。適当にストップかけて下さい。(笑い)

吉田　これで安心。(笑い)どんどんしゃべって下さい。気に入らんことは、こっちで遠慮なく切り捨てますから。(笑い)とにかくザックバランにいきましょう。

大西　そんなら、まず上着を脱がしてもらいます。(間)これでスッとしました。(笑い)

吉田　やっぱり、ええとこあるなあ。(笑い)さて、あなたは関大三十代目の学長で、校友学長としては五代目学長ということになりますねえ。

大西　そうらしいですねえ。

吉田　それに、昭和元年十二月二十九日生まれということだから、昭和生まれの学長が初めて誕生したということになりますな。こっちのほうは、だんだん年数がたっているんだから、特に珍しいことじゃないわけだが……。

大西　生年月日までお調べになってるんですか？

吉田　学長ご就任と、文学博士の学位授与というおめでたが二つ重なったことを、まず心からお祝い申し上げます。

大西　有難うございます。そんなに丁重なお言葉を頂戴すると、どうお礼申し上げてよいのか、言葉に詰まってしまいます。

吉田　言葉に詰まってしまわれると、こっちが困ってしまうんです。うんとしゃべってもらわんと、対談にならんのです。(笑い)

大西　分かりました。本当はえらいしゃべりで、しゃべり出すと止まらんのです。適当にストップかけて下さい。(笑い)

吉田　これで安心。(笑い)どんどんしゃべって下さい。気に入らんことは、こっちで遠慮なく切り捨てますから。(笑い)とにかくザックバランにいきましょう。

大西　そんなら、まず上着を脱がしてもらいます。(間)これでスッとしました。(笑い)

吉田　やっぱり、ええとこあるなあ。(笑い)さて、あなたは関大三十代目の学長で、校友学長としては五代目学長ということになりますねえ。

大西　そうらしいですねえ。

吉田　それに、昭和元年十二月二十九日生まれということだから、昭和生まれの学長が初めて誕生したということになりますな。こっちのほうは、だんだん年数がたっているんだから、特に珍しいことじゃないわけだが……。

大西　生年月日までお調べになってるんですか？

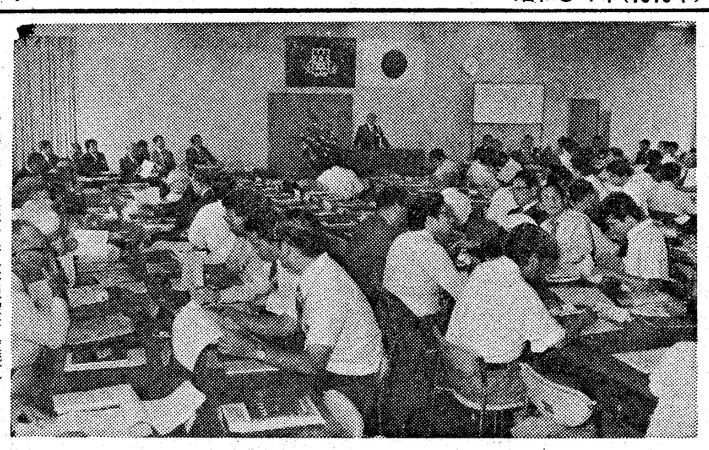
吉田　あなたは柔道も剣道も相当な腕前だそうだから、こっちから斬り込んでゆくのを、パッパッと受け流してもらえばいいんです。なんでも、柔道剣道合わせて五段ということだが、こりゃあいったいどういうことなんです？

大西　柔道剣道の段を合わせると五段ということになるんですが、今じゃどっちもあきません

百周年に向け「宣言」採択

全国支部職域同期 代表者総会ひらく

昭和五十四年度の全国支部職域同期代表者総会は、九月二十二日午後一時三十分から母校千里山キャンパスの関西大学会館四階大集会室で開かれ、九八団体一六〇名の代表役員が熱気あふれる討議を高めたあと、母校百周年に向けての「宣言」を高らかに採択した。



実りある討議を訴える樫本会長（全国代表者会議で）

授業時間をさいて賛助の応援団吹奏楽部の演奏に合わせ、学歌を斉唱。樫本校友会長が「校友会はいろいろの目的はあろうが、要は母校関西大学に学んだわれわれがいかにして親睦を深め、お互いに切磋琢磨するか ということにある」との力強い励ましのあいさつをした。畑下組織部長が「地域支部や職域会、同期会など、それぞれ成りたちも実態も異なる点が多い。組織別に分科会を開いて、その組織共通の問題点を討議した上で、その結果をふまえての全体会議を」と、会議の進め方を説明した。

代表者総会初の分科会は、地域職域、同期会、各種団体・関係校友会の四分科会にわかれての討議に入った。（詳細は畑下部長の実践的校友会論を参照）。

一時間後に、再び全体会議にもどり、各分科会代表の討議結果の発表があったあと、木下京都支部長が、母校百周年に向けての組織づくり呼びかけのアピール（宣言文は別掲）を提示し、満場一致で採択した。

母校の近況報告に立たれた中学長は、昭和十三年十一月、中之島中央公会堂で開催された〝オール関大〟初の校友総会の歴史的意義を述べられたあと、「本学が百周年の輝かしいエポックを指呼の間にのぞみうる今日、校友の諸兄がゆかりの中之島に集まられる本年度の校友総会は、まことによろこばしく存じます」と感謝された。

ここで、ひと呼吸おいて。

「今月末で何とか学長の任期を無事に満了し得ますことは、ひとえに校友の皆さんのおかげと心から感謝申しあげます、故岩崎学長は本学の建学いらいの教学の歩みを回顧されて、「過去は決定的な悪であり、未来は可能的な善である」という言葉を残されています。過去はことごとく失敗の記録として後継者によって批判されてこそ本学の永遠にわたる飛躍と発展が期待されるのであります」

重厚な、そして、うちに熱情をこめた語調で〝学長職三年〟を締めくくられた。

すかさず樫本校友会長が立ち、「中学長に対する、心からなる感謝の意をこめて、お送りしましょう」と。

万雷の拍手が鳴り渡った。

全国支部・職域・同期・各種団体等代表者総会の出席者

組織名・出席者（カッコ内は卒業年次と役職）

◇地域支部

◇大阪市内▽阿倍野・小嶋龍太郎（昭8支部長）関矢貫一郎（昭13幹事）▽生野・細川嘉彦（昭32副支部長）▽大淀・乾・昌明（昭29副支部長）橋野夏明（昭39幹事長）▽北・森位弘治（昭23支部長）▽天王寺・山田栄一（昭25支部長）▽西・増田誠一（昭18支部長）▽西成・小林正立（昭14支部長）▽東・片野総一郎（昭24支部長）▽平野・鞍内国二（昭30支部長）▽福島・上田義雄（昭25支部長）長岡博（29副支部長）▽南・尾崎正三（昭15幹事長）。

◇大阪府下▽和泉・吉田利秀（昭33副支部長）▽貝塚・庶生川章（昭29副文部長）▽柏原・青山吾郎（昭45役員）米岡淳一（昭51役員）▽河内長野・堂蒲詢爾（昭14支部長）▽堺・木村吉治（昭32副支部長）井上竹蔵（昭7前支部長）▽四条畷・朝田和（昭28支部長）▽摂津・中田幸治（昭24支部長）▽高槻・清水利男（昭34副支部長）▽羽曳野・杉本巌（昭8支部長）▽藤井寺・林信夫（昭7支部長）▽東大阪・宮越功（昭25支部長代理）▽枚方・養父一郎（昭16副支部長）西田秀吉（昭10副支部長）▽八尾・水野富蔵（昭29支部長）大西康進（昭9顧問）槙谷武夫（昭34副支部長）

◇他府県▽福井・北野繁太郎（昭16支部長代理）▽南勢・中山善輝（昭33幹事長）▽三重・三宅克也（昭38支部長）▽愛知・白羽弥三（昭6支部長）折口昌弘（昭17副支部長）▽奈良・浦田善之（昭10会長）▽京都・木下忠夫（昭8支部長）▽姫路・田中幸雄（昭29副支部長）▽西宮・保井剛一（昭14支部長）▽宝塚・伊藤六祐（昭17支部長）▽伊丹・尾原淳夫（昭14支部長）蔵本薫（昭38副支部長）▽尼崎・松島浩（昭30副支部長）▽芦屋・松田秀彦（昭12支部長）▽マスコミ関大会・田村昌利（昭26副支部長）▽撫津・井村昌利（昭26副支部長）▽神戸・山崎敏義（大14理事）城谷延男（昭10理事）

◇職支部・職域会▽大阪国税務麗会・宮崎一也（昭42幹事）大谷久雄（昭40幹事）▽近鉄会・中沢俊雄（昭17支部長）▽淡木印役所関大クラブ・松本信隆（昭44幹事）▽堺市役所関友会・植村芳治（昭28副会長）▽中村幸夫（昭26幹事）▽吹田市役所関大会・奥宏（昭15会長）村田幸明（昭33副会長）▽摂津市役所関大クラブ・木下好広（昭48幹事）野村雄三（昭49幹事）▽守口市役所純正会（昭33会長）▽守口市役所関大会・富田（昭31副会長）▽箕面市役所秀麗会・中井哲夫（昭42幹事長）▽西宮市役所秀麗会・鎌田勉（昭31代表幹事）上横樹醫（昭35幹事）▽尼崎市役所秀麗会・井上和彦（昭27会長）▽伊丹市役所親和会・古屋敷達夫（昭43副会長）岡部元則（昭42会計）▽毎日新聞関大会・吉井功児（昭27幹事）▽マツダ千陵会・田村卓郎（昭34事務局長）進藤忠一（昭35組織部長）▽三洋電機秀麗会・上坂一夫（昭52幹事）▽自動車関大会・大橋博（昭9会長）▽大阪マツダ千陵会・安田彰（昭31会長）▽山陽電鉄関大会・三好襲正（昭34幹事）木村俊紀（昭54幹事）▽大阪市中学校教員尚志会・森山八郎（昭30幹事長）▽関大法曹会・和田栄重（昭28副幹事長）力野博之（昭34幹事）▽関西大学会計人クラブ・羽賀順一（昭48世話人）▽関大不動産鑑定士クラブ・江南務（昭29幹事）▽大阪銀行千里会・杉本芳文（昭29会長）。

◇同期会▽十三会・頓戸勇（大13代表）▽千里山一桃会・佐野登喜雄（昭2世話人）▽昭三会・大島峰太郎（昭3副会長）▽斯文会・安井章吾（昭4幹事）▽昭五会・高橋孟（昭5代表幹事）▽昭六会・福原菊治郎（昭6代表）池田弥一郎（昭6幹事）▽昭七会・吉木由雄（昭7代表）▽昭八会・大島武夫（昭8会長）▽経拾会・田中雄祐（昭10代表幹事）木藤安之（昭10幹事）▽五十経会・平沢農一（昭13代表）▽喜楽会・田中正巳（昭17会長）▽飛雲会・信本松夫（昭19幹事長）徳平代又一（昭16副幹事長）▽十七会・鑪田武（昭17幹事）▽千里山十八会・苗村七郎（昭18常任幹事）▽二三会・佐伯博臣（昭25副会長）▽予科有終会・河合光燕（昭28副代表）三木憲三（昭28幹事）西村義美子（昭28幹事）▽ミネルヴァ会・山下正隆（昭28会長）村田博（昭28幹事）▽二六会・佐野栄三郎（昭24代表幹事）鱧謙三（昭24代表幹事）▽五七会・堀政男（昭25副会長）宇野貞一郎（昭27幹事長）▽二九千里会・高橋一夫（昭29幹事）。

◇関係校友会▽修工会・横山清美（昭30副会長）藤井拓蔵（昭39副会長）▽短大同窓会・横山茂昭（昭29会長）▽史学科同窓会・早瀬英明（昭27幹事長）▽逍遥会・谷口弘泰（昭14会長）▽関甲倶楽部・吉田八郎（大13会長）木村昌三（昭23幹事）▽一高同窓会・古川智（昭31会長）古山正家（昭32副会長）。

◇各種団体▽体育OB会・松井清（昭13副会長）▽千成会・片岡恒次郎（昭13会長）▽スポーツマンクラブ・林勲（昭28会長）▽天六同友会・植田雪一（昭29幹事）横畠正秀（昭43会計幹事）▽年輪会・大矢五朗（昭11副会長）▽朝鮮人同友会・金長松（昭15会長）金東憲（昭16幹事）▽二部心援団OB会・児島弘治（昭43会長）▽湧交社関大会・今岡良蔵（昭2幹事）岡本寧夫（昭36幹事）▽大阪府下関大自治体職域懇談会・泉田康視（昭29世話人）▽女子秀麗会・富田治子（昭26副会長）片山久江（昭44副会長）。

法人・大学・校友会本部出席者

【法人】理事長久井忠雄【大学】学長中義勝【校友会本部】代議員会議長矢野文雄▽会長樫本信雄▽副会長植垣忠雄▽同村上精三▽総務部長荒井広▽事業部長倉谷精一▽広報副部長伴義孝▽財務部長山本幸昭▽事業副部長宇津呂雄蔓▽同富田源郎▽組織部長畑下辰典▽同副部長神戸善弘▽同部員金本朝一▽同佐々木砂夫▽同徳山喜昭▽同福永利一▽同村林隆夫▽同渡辺猛

宣言

われわれは、本日ここに全国支部職域同期代表者総会を開催し、校友会組織の充実強化のために協議した。

関西大学創立一〇〇周年に向かって、おのおの組織を通じて会員の参加を拡大し、母校の発展につながる運動を展開することを宣言する。

昭和五十四年九月二十二日

関西大学校友会
全国支部職域同期代表者総会

実践的校友会論

全国代表者会議を終えて

〈6〉畑下辰典（昭27学二経）

九月二十二日に開かれた全国代表者会議を、さらに実りあるものにまとめあげるため、組織部では十月八日に部会を開いた。畑下辰典組織部長に昨今の問題点を剔出（てきしゅつ）しての実践的校友会論を展開していただいた。畑下部長は常議員十期、戦後の校友活動を核となって背負ってきただけに、指摘はつねに具体的、実際的である。

一、はしがき

校友会の重要な年中行事の一つに、全国支部・職域・同期・代表者総会があり、会則による代議員会、総会とは別個に運営されている。

会則第四条に定める地域または職域に設けられる支部のほか、職域会、同期会、各種団体等の代表者が一堂に会して、母校につながる校友のそれぞれの組織としての動静を語り合い、校友相互の親睦と大学の発展に貢献する組織を築き上げようとするところに、全国代表者総会の意義がある。

しかし目標を高く掲げながらも利益なき共同団体としての組織論のむずかしさが、ついて回っている。構成員の把握、資金づくりの困難、会員の協力度、総会参加者の少数常連化。各種行事の行動力ある推進者などにそれぞれの苦労は限りない。

これらをどのようなアイデアと努力で克服し、組織を充実強化してきたか、またしようとしているかの実情を聞くことは極めて価値あることと言わねばならない。

二、本年度の代表者総会

九月二十二日（土）秋の訪れにかかわらず残暑の厳しい千里山、関西大学会館に、九八団体、一六〇名の代表者と校友会本部三三名の役職者が参会し、本年度の全国支部・職域・同期代表者総会が開催された。

今年は例年と異なる運営として開会における会長、組織部長のあいさつと出席者紹介のあと、分科会討議を採用した点を挙げることができる。

活動支部の実践論

地域支部代表者を集めた第一分科会は、樫本会長が議長となって、開会前に寄せられた①愛知支部提案の大阪市内支部の連合、府下の各支部の連合による運営 ⑤神戸関大倶楽部の他大学の校友会運営の参考例と支部運営基準の明示、などについて活発な論議が寄せられた。

支部活動が積極的であるほど、人が集まり、財源が集められる。活動が活発であればあるほど組織が強化されていると言えよう。しかしそのためには核になる役員の努力が欠かせない。

利用可能な名簿の作成と会員への配付、会員への事ある毎の呼びかけ、葉書などの郵便物以外に電話、直接足での訪問、支部独自の支部報、ニュースなどの発行、ユニークな行事の企画、懇親のための安い費用の会合、若い校友の参加しやすい運営、職域との交流、隣接支部の役員招聘、など多くの実践論が活動的な支部の発言として光っていた。

職域支部の活動

第二分科会は、職域支部と職域会の代表者が集まり、村上副会長が議長となって開かれた。

職域には、役所関係（府庁、市役所、国税等）、民間会社、同業団体の組織があって、先輩、後輩が一つの事業体、同じ職業に従事して親近感を深め、関大出身者の名声を高めようと各自が努力している姿が常に垣間見られるところである。大阪府下の自治体職域懇談会、同期会、各種団体等の代表者が一堂に会して、母校につながる校友のそれぞれの組織としての動静を語り合い、校友相互の親睦と大学の発展に貢献する組織を築き上げようとするところに、全国代表者総会の意義がある。

しかし目標を高く掲げながらも地域と連携を進め、地域支部に貢献している守口、堺の市役所組織、校友が三十人以上いる会社、事業体、役所での関大会（秀麗会などいろいろな名称も可）の設置促進の呼びかけ、など各種の議論が出された。

減少たどる同期会

同期会を集めた第三分科会では植垣副会長が議長となり、声を聞く事例をあげて組織強化を訴える畑下組織部長

返信が返らない七〇%に対する対策 ②河内長野支部提案の地域支部と職域、同期会とのあり方 ③八尾支部提案の実践報告をもとにした支部活動の検討 ④阿倍野支部提案の大阪市内支部の連合、府下の各支部の連合による運営 ⑤談会の結成で、市役所関大会の組織は府下に勢いを拡げ、未確認組織の確認、未組織の組織化が進められていることは喜ばしい。

各会からの実践的報告の中では、名簿の交換で良い意味での活用、関大の先生を講師とする講演が人気のある講師のあっせん、商、一高の同窓会などと、各種団体に区分される体育、応援団、二部、女子などのOB会が集まり、議長は荒井総務部長が芦田副会長に代って担当した。天六同友会では関大創立百周年に向かって、今から募金への協力体制として月千円貯金をすでに始め、この方法を各団体に呼びかけ採用をすすめた。

修士会では財源を作り、奨学金制度の創設予定を検討中と発表した。

財源確立に最も強い力をもつ各種団体の協力は、校友会にとっても力強い限りである。

一時間半にわたる討議が、全体会議に報告され、各分科会で事前に承認がえられた大会宣言が、高らかに読みあげられ、全国代表者の組織強化の決意が示された。

三、組織づくり

地域、職域、同期の中で、まだ組織化されていない場合、組織づくりにご協力いただきたい。

新しい組織を認める基準は、会費払い込み会員三〇名以上となっている（地域支部は五〇名以上）ので、事務局へ連絡をとってもらいたい。関大百周年に向かって、より強固な組織を拡大することが、校友会の尽きぬ念願であり、ご協力をお願いしてやまないところである。

山本教授を招いて「石油問題」研修

府下自治体職懇第三回総会

大阪府下関大自治体職域懇談会（世話人代表・篠原昭三大阪府建築部次長）の第三回総会は、九月二十九日午後二時から北区中之島の中央公会堂三階集会室に府下各自治体から百三十名が集まり盛大に開かれた。

この懇談会は、大阪府庁、大阪市役所のほか府下七ブロックの世話人をもって運営に当たり、会則もなければ役員も決めず、総会の設営もブロック持ち回り。

今回は大阪市役所（支部長・遠藤渉収入役）のもとで設営され、会場は本年度の校友総会が開かれる中之島中央公会堂。母校経済学部の山本繁綽教授から「石油をめぐる経済動向」を講演し、懇談会初の事業「昭和五十四年版・懇談会校友名簿」が配本された。

野村吉治・箕面、榎原敏雄・豊中両議員の校友議員団をはじめ樫本会長らが来賓として出席した。

懇談会は、ブロック毎に設営されたテーブルを囲み、大いに意気を高め、午後四時半散会した。

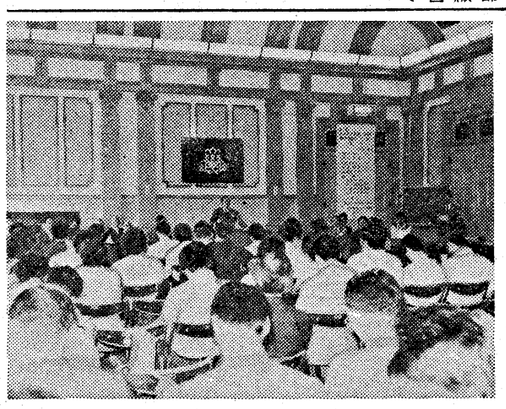
【山本繁綽教授の講演要旨】

七三年の石油価格四倍引き上げ以後、今年また、石油価格が大幅に引き上げられた。いまや「二〇〇〇石油」の時代に入った。石油価格上昇の経済問題について述べたい。

第一にOPECの石油価格引き上げは、何故成功したのか。生産国カルテルは、概して長続きしないといわれる。しかしOPECは、石油には適当な代替品がない、市場占拠率が圧倒的に高い（一九七六年のOPECの石油輸出額は、世界の石油輸出額の八六%）、OPECの二カ国の結束力が意外に固い、という三条件が揃ったため、例外的に成功したのである。これらの三条件は、当分くずれそうにない。

第二は、石油価格引き上げは、非産油国にとって、インフレかデフレかという問題である。非産油国は輸入金額が増大して、国際収支が悪化するから、基本的にはデフレ圧力を受ける。もっとも、産油国が輸入をふやせば、非産油国の国際収支の悪化は阻止されよう。しかし、ハイ・アプリーバーの代表国イランが脱落したので、オイルマネーはますます貸幣で運用される傾向があり、輸入拡大効果は小さい。石油関連価格が上昇しているので、何故インフレでないのか。石油価格上昇の問題は、それだけでは相対価格の問題だからである。前回のように、投機需要が生じ、通貨が増発されてはじめてインフレとなる。しかし、今のところその徴候はない。

第三は、石油価格の上昇が、長期的には、望ましい経済構造をもたらすことである。石油はどのみち底が見えている。省石油、代替エネルギーの開発は天下の要請である。精神論や掛け声では効果が弱い。石油価格の大幅な上昇によってこそ、石油節約型の経済の調整が、自然と行われるのである。不自然な低価格政策は有害である。私見では、電力料金など、他と比べて安過ぎるのではないかと思っている。



一足早く中之島公会堂に集う府下自治体職懇のみなさん

武蔵〝五輪書〟講演に感銘

中学長を迎え四条畷支部総会

四条畷支部（朝田和支部長）では九月十六日午後二時から、市内中野「サンプール」に三十余名が集まり総会を開いた。

同支部は、樫本校友会長が四条畷に居を移されたのがきっかけで組織化の気運が高まり、昨年七月十六日〝新支部〟として結成総会を開いた。今回は第二回目の総会。

日曜日にかかわらず母校から中学長、地元四条畷市の森本市長、それに隣接寝屋川市から北川石松校友代議士が、総選挙公示を翌月に控えた多忙の中を顔を出された。

樫本会長ら来賓の挨拶、母校紹介映画「青春の群像」の上映のほか、中学長先生より宮本武蔵「五輪書」より引用された重厚な講演を聴き、一同感銘を深くした。

四条畷支部で特別講演の中学長

秦議員の時事放談

多彩な校友で東支部総会

大阪東支部（吉野総一郎支部長）の今年度の総会は九月二十一日午後六時から、大阪コクサイホテル八階宴会場に五十余名が集まって盛大に開かれた。

ドーナツ現象で居住校友の少なくなる東区ながら、大阪府庁、国税局、民間有力企業を地元に持つだけに、毎回とも異色、多彩な校友の参加が多い。

秦豊・参議院議員は当支部とは深い縁がある。元支部長の薩摩卯一氏とは関大で、戦前は一時、クラスメートだったという。総選挙公示後の多忙のなかを、応援先の福岡から空路かけつけ、時事放談と題して、氏なりではの広い視野に立った総選挙分析を政界裏話と折り交ぜて語り、聞くものをして魅了させた。樫本会長も、関大関係者の政界における活躍を期待する旨の挨拶をはさまれた。

フィナーレを飾る福引では、特賞英国紳士服地を波田野福雄氏（昭14専一商）が射止めるなど空くじなしの抽選を楽しんだ。

秦議員の話を聞く東支部総会

参加70名、OBも出席

近畿郵政関大会が総会

近畿郵政関大会の本年度総会は九月二十九日（土）午後三時から、天王寺区上六の三和会館内〝仙山閣〟で開催した。参加者七十名。

服部後一会長のあいさつがあって、校友会長代理として出席された荒井広総務部長は、本年度の校友総会を、ゆかりの大阪中之島中央公会堂で開催し、府・市政、法律、税務その他の〝一日市民相談所〟を設け、それぞれ校友専門家が担当して、地元市民に奉仕するなど、例年にない企画を進めている、と報告し、総会参加を要請した。

会長、副会長、幹事など役員が総辞職し、新役員の選挙が行われ、法科出の山田義康氏（大阪高裁判事）を満場一致で選出した。

挨拶に立った山田氏は「同期会は友達同士がより多く話のできることが大切。折角の機会を有意義に生かすよう つとめたい」と話した。

幹事交代毎の事務運絡先変更の繁雑を避けるため、本部登録は、今後とも大阪市南区心斎橋筋二丁目五、霜田武氏宅となる。

OBの参加でにぎわう郵政関大会

オール出席であったほか、OB会員の大森俊次、尾形貞延、合田実夫、佐藤稔、長崎孝紀、中島弘治、橋本健造、早川実民、森岡植次郎、森田安一の諸氏が出席され、楽しい会合であった。

近畿郵政関大会連絡先
〒540大阪市東区京橋三ノ三七、近畿郵政局郵務部業務課第一業務係、山本雅昭（近畿郵政関大会・幹事長）。

幹事に山田判事

関大十七会総会

関大十七会のことしの総会は、九月二十日心斎橋「大成閣」に約四十名が集まって開かれた。

この会は昭和十七年学部卒業の同期会。卒業記念日の九月二十日を総会日にしている。幹事は二年ごとの交代制をとっている。

総会では、幹事の互選が行われ、法科出の山田義康氏（大阪高裁判事）を満場一致で選出した。

挨拶に立った山田氏は「同期会は友達同士がより多く話のできることが大切。折角の機会を有意義に生かすよう つとめたい」と話した。

幹事交代毎の事務運絡先変更の繁雑を避けるため、本部登録は、今後とも大阪市南区心斎橋筋二丁目五、霜田武氏宅となる。

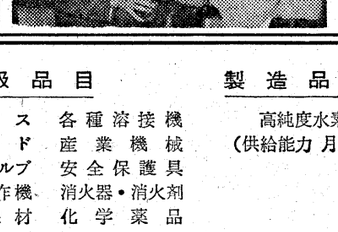
高らかに学園歌

富山県支部総会

富山県支部（安田倫毅支部長）の今年度総会は、九月三十日（日）午後三時から富山東急インで、会員四十五名が出席して開かれた。

前年度の事業並びに会計報告を異議なく承認した後、役員の改選に移り、全役員を再選した。

懇親会では、会員の父兄による奇術や、福引を まじえて先輩と後輩が和やかに歓談、設立以来初めて女子校友が二名参加したこともあってムードは最高に盛り上がった。最後に肩を組み応援歌、逍遥歌、学歌をうたいあげた。（大沢記）



初の女子校友のサービスに安田支部長のほおもゆるみっぱなし

新役員は次の通り。

支部長 安田倫毅（昭9大法）
副支部長 井田宗明（昭12専二経）
幹事長 延谷謙二（昭20専2法）
支部事務所 〒937魚津市本町二ノ四ノ六、安田倫毅方（電話〇七六五-22-〇一三七番）。

中国考古学最新情報も

西成支部初の市民大学講演会

九月十八日西成産業会館に網干善教先生をお招きし校友会西成支部（小林正立支部長）主催、大阪商工会議所西成支部後援の〝市民大学〟講演会を行った。

網干先生は中国科学院の招請で訪中され帰国されたばかり。また大学の講義でも話されていない最新の中国考古学の情報から講演にはいられた。

最初に、「高松塚古墳」と同じように壁画のある古墳が多く発見されている輯安へは目程上訪問できなかったが、「長川第一号」という発見されたばかりで、まだ日本では報道されていない仏教壁画を見て、写真撮影されたこと。日本の馬具のもとといわれる「北燕の馬具」を、実際に手にとって見てこられたことなど興味深いお話しをされた。

「高松塚古墳」については、壁画に描かれた「青竜」「朱雀」「白虎」「玄武」の意味する方向・色彩・季節を、麻雀等との関連性なども交えユーモラスに話された。「現在の生活も歴史の大きな原則の上に成り立っている」と締めくくられ、二時間に及ぶ講演を終えられた。

講演会後の懇親会で商工会議所西成支部の加藤事務長は「企業の経営指導は旧来の方法では、行き詰まりが感じられる。網干先生のお話しをいただきたい。今後とも今日のような講演会には協力してゆきたい」と挨拶された。（松岡記）

内外医
特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士 鈴木武夫
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
電話 大阪〇六（五三二）七四三一～七四三五
（四ツ橋交差点西角 地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣 大花興産ビル2F・3F）

〒550
大阪市西区江戸堀一丁目二五一三〇（とみたビル）
電話（四四一）二一〇〇・一三九四（四四五）〇一五〇
所主 弁理士 大島武夫
弁理士 大島泰甫
大島特許事務所

富士火災の
貯蓄と補償をかねておすまいと家財の決定版
長期総合保険
火災・爆発・家財の盗難・車の飛び込み・地震などの災害をワイドに補償します。5年満期と10年満期の2種類があり、満期には、ご契約金額の10%を返戻いたします。
企業の繁栄とご家庭の幸福に
富士火災
本店 〒542 大阪市南区末吉橋通2-3 ☎06(271)2741(大代表)
本店茨木ビル 〒567 大阪府茨木市道祖本4-5 ☎0726(43)1151(大代表)

MITSUMOTO
営業品目
合成樹脂原料
合成樹脂製品
MC MK
株式会社 三元商会
大阪市西区阿波座1—13—11 アワザ心斎橋ビル
電話 (06) 532—4751(代)
三元化成株式会社
大阪府南河内郡美原町菅生1254—22
電話 (0723) 61—4206(代)
社長 福井義明

取扱品目
各種高圧ガス　カーバイド　高圧ガス容器・バルブ　ガス溶断機・工作機　溶接棒・鋼線材
製造品目
高純度水素ガス（供給能力 月150万㎥）
各種溶接機　産業機械　安全保護具　消火器・消火剤　化学薬品
溶接機材 産業機械 総合商社
丸由工材株式会社
取締役社長 澤田勇夫（校友会東京支部長）
本社 東京都中央区日本橋小舟町1—8 電03(662)2361(大代表)
旭水素工場 東京都荒川区東尾久7—4—8 電03(895)1181(代)
川崎水素充填所 神奈川県川崎市川崎区浮島町10-2 電044(277)3868(代)
江東支店 東京都江東区東砂6—9—4 電03(640)2361(代)
江戸川営業所 東京都江戸川区中央3—19—1 電03(654)6121(代)
蒲田営業所 東京都大田区西糀谷4—32—13 電03(742)1491(代)
北千葉営業所 千葉県千葉市犢橋町1664—4 電0472(59)2224(代)
太田営業所 群馬県太田市内ケ島911—2 電0276(45)8957(代)
三重営業所 三重県安芸郡安濃町安濃2300-3 電05926(8)2306(代)
白井出張所 千葉県印旛郡白井町大字中98-18 電0474(92)0342
九州中津連絡所 大分県中津市中央町1—7—46 電0979(23)4022

トベマウント トベマウントわた
用途 寝装品全般、防寒衣料用キルティング綿
中入綿
特徴 嵩高性に優れ、洗たくに強い
わた切れ毛立ちがない
舎戸部株式会社
代表取締役 戸部智夫（昭14大商卒）
本社 大阪市西区北堀江1—5—13 電話 06(531)9551(代)
吹田工場 吹田市東御旅町2—3 電話 06(383)0666(代)
貝塚工場 貝塚市沢字新開1076 電話 0724(22)1355
奈良工場 大和郡山市小泉町2234—13 電話 07435(2)4224

初の全学統一「学園祭」

25日↓28日

友情と団結の輪！
"ナウな関大生"の演出を

千里山キャンパスの学園祭は二十五日から二十八日までの四日間、「激動の'80年代に向かって　広げよ！友情と団結の輪（スクラム）を！」テーマに繰りひろげられる。法、文、経、商、社、工の六学部はもとより、これまで足なみのそろわなかったサークルも、はじめて一本の実行委にまとまっての参加である。三年目にして、やっと全学参加のワタゲになりそうだ。

準備は六月ごろからすすめられてきた。もっと文化創造的なものを、社会問題にも広く目を、という念願が実り、講演会、シンポジウム、映画などは昨年の倍はかぞえる。しかし食べ物を中心にした模擬店も、減ったとはいえ、まだまだ二百店近くになるもよう。関係者全員も"検便"をすませ、万全の対策だとか。

木村公一・実行委員長（文三）の話。

はじめて全学が統一してやれることになった。まだまだ学園祭であって、一本の中心があってオール関大が行なう"大学祭"、"千里祭"には道が遠い。

しかし文化的、社会的問題も意欲的に取り入れており、いってみれば"ナウな関大生"が演出できるでしょう。

講演会・シンポジウム
（一部映画などを含む）

◇10月25日（木）
▽「江戸笑話」。午前中。法文106R。肥田晧三氏（図書館嘱託）
▽シンポジウム「歴史について語ろう」。13時。法文121R。横田健一、富沢霊岸の両教授。
▽「江戸　時代の　朝鮮通信使」「朝鮮通信使の歴史的意義」。映画付。13時。経商C302R。泉澄一教授と辛基秀氏。
▽シンポジウム「80年代に目を開け！」。もう無関心ではいられない！。13時30分。法文DR。中山千夏さんと矢崎泰久氏。

◇10月26日（金）
▽「現代日本の文化状況を映画を通じて考える」。10時。経商C304R。映画「皇帝のない8月」と「ああ野麦峠」。山本薩夫氏。
▽「戦争告発」。11時。法文110R。永野　仁氏。映画「ピカドン」。
▽「'80年代における国文学の文壇を考える」。12時。吉田永宏・助教授。
▽シンポジウム「婦人問題」。13時。法文110R。鈴木祥蔵教授。
▽「障害者の教育権について」13時。法文125R。福井達雨氏。映画「養護学校はあかんねん」。
▽「有事立法と憲法9条」。14時。法文226R。長谷川正安氏。

◇10月27日（土）
▽シンポジウム「再び差別落書を許さぬために」。11時。法文336R。鈴木祥蔵、森井暁、田宮武の三教授と谷口修太郎氏。
▽「戦後日本文学の潮流を考える」。12時。法文126R。小田切秀雄氏。
▽映画と講演。13時。法文125R。鈴木祥蔵教授。「ガラスのうさぎ」「ピカドン」「戦争体験の継承を訴えてゆく」。
▽「教師の条件」。時間未定。法文216R。石島洋介教授。

◇10月28日（日）
▽シンポジウム「教育権について学生生活は今」。午前中。法文126R。石原忠一氏。
▽「若き日を如何に生きるか」13時。法文125R。林田茂雄氏。
▽エネルギー問題シンポジウム。13時。工202R。「日本のエネルギー危機」・坂井昭夫助教授。「エネルギー問題と原子力」・木原正雄氏。
▽シンポジウム「仮説実験授業を通じ教育を考える」。13時。工203R。有志。
▽「詩人の眼から見た現代学生気質の変遷」。14時。社特設ステージ。「誇りと笑いの祭」。加川良、保坂展人、喜納昌吉の各氏。

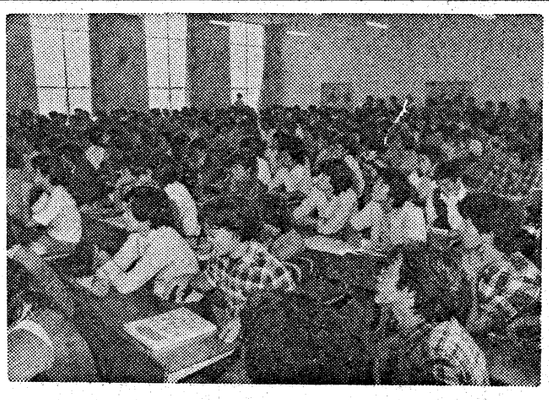
映画

◇10月25日
▽「アメリカン・グラフティ」社特設ステージ。
▽スライド「在日韓国人政治犯―その歴史と現実」。13時。法文209R。講演も。

◇10月26日（金）
▽「アラビアのロレンス」。法文225R。
▽「ペンセレモス」。経商A301R。
▽「サンダカン八番館娼」。社特設ステージ。

◇10月27日（土）
▽「独裁者」。法文225R。
▽「ペンセレモス」。経商A301R。
▽「戦艦ポチョムキン」。「母」「地の塩」。社201R。
▽「同胞」。「とうちゃんのポーが聞える」。経商C304R。

◇10月28日（日）
▽「アドベンチャー・ファミリー」。経商C304R。
▽「宇宙戦艦ヤマト」。経商A2階。
▽「ラストコンサート」。経商C302R。


*模擬店。開店の打ち合わせをする学生諸君の熱気

八名の校友代議士が誕生

第三十五回総選挙が終わった。マスコミの予測とはうらはらに、自民二四八、社会一〇七、公明五七、共産三九、民社三五、新自クラ四、社民連二、無所属一九が開票直後の結果である。半世紀にわたった自社対決の55年体制がこっぱみじんに打ちくだかれたといえよう。混迷の中に、新しい政治体制の模索がはじまるのだ。

自民惨敗、社会低迷、公明着実、共産・民社躍進という結果に終わった今回の総選挙は、自社対決の「一九五五年体制」が音たかく崩壊し、新しい政党体制を模索する時代に入ったことを示すといってよかろう。

今回の投票率の低さ（六八・〇一％）は印象的で、この点でこそ変化した（前回より五・一四％減）が、各政党の得票率、得票数からみると、大きい変化がみられない。むしろ惨敗の自民党にして得票率（四四・六％）、得票数（二四〇八万票）をみると、一貫して下降線上にあった得票率が前回比ではじめて上向き、得票数も四八万票を前回に上乗せした。

議席数二八から三五へと増加させた民社党は、得票率、得票数、議席数を三つとも拡大させた唯一の政党であったが、その他の政党では目をみはるような変化がみられない。

上林　教授

しかし政治の方向、潮流、とくに底流において大きな変化があったことはたしかである。総選挙の主要な特徴をふりかえり、政党構造の底流の変化に着眼して、半世紀にわたった自社対決の、わが国"第三政党制"に変わる"第四政党制"への未来を予測しよう。

自民党、民意を読めずに惨敗す

第一に総裁大平正芳は、「政策の打ち出し方、選挙の準備、運動の面に足りないところがあった」と自民党の敗因をあげたが、それは「増税問題」にしぼられる。八〇年代にむけて自民党が長期低落から浮上するための「曲がり角選挙」が、「増税選挙」と化して、野党に対して最大の攻撃材料を提供して自らを窮地に追い込んだ。

大衆デモクラシーの今日、「増税」という国民にもっとも嫌われるテーマを政策にかかげて選挙をやったという点から、今日の選挙は、わが国選挙史上希有の例であった。大衆の耳目にはいりやすく美味しいことを公約して選挙が行われてきたのが、大衆民主政治の現実であった。

その常道に逆らった大平氏が、選挙戦術や運動の拙劣さを認めるだけでは的はずれであろう。今日の保守回帰の流れが、不況下にあって消極的な保守回帰にすぎないものを、本質的な保守復調とみて、あまりに過大に評価したところに、民意を読みきれなかった自民党の敗北があった。

大衆にむかって増税を打ち出したのち、財界、中小企業者、サラリーマン、農民等国民各層がいかなる反応をしめすかを計算しなかった。とすれば、一時的な"大平正芳氏の驕り"というよりも、やはり派閥を背景にした一人の官僚政治家にすぎないので、真の国民的リーダー、大衆政治家としては、重大な資質の欠陥を露呈したものといえよう。

'80年代の政党政治
変質した保革伯仲で混迷へ

法学部教授
（政治学担当）
上林　良一

二世議員107名は民主化の形骸化

第二に社会構造、集団組織の変化に眼をうつせば、今回の選挙はいずれも、各候補者の組織のぶつかりあいであり、支持集団の変容をしめしたものはなかった。もともと選挙は各候補者にとって、日頃培養した集票組織の強化と活性化、連呼と、ときには買収による動揺票の補強と浮動票の上積みである。

したがって、今回多数の「二世」候補者が登場し、「二世」議員は解散前より十人ほど増えて衆院議員の三分の一の八五人が「二世」議員である（朝日新聞・十月九日付紙面）。集票組織が世襲され、昨日まで"のサラリーマン"が一躍して国会議員になるという、外国にみられないケースまで生じた。これらは、候補者本人よりも、利益誘導と集票の機能をかねた組織の要求であるから、まさにデモクラシーの形骸化であり、議会政治の貧困をあらわしている。

全国的にみて、自民党の長老、大物に落選者が多く出たのも、長老、大物の後援会が老齢化して活動がにぶったことによるだろう。根本的には、老齢化した後援会組織が、家族関係や地域社会のなかで集票能力を失い、人口が移動し都市化がすすみコミュニティーが崩壊するという社会変動に適合しえなくなったことをあらわしている。

いわば、これまで保守政治を支える有力な政治機能を果たしてきた町内会、隣保等が、新しい自治運動が、同盟系有力単産の主張すら認めざるを得ない。鳥取全区、秋田一区、宮崎一区で実現した国労、全逓、全電通の三組合と公明党との「総・公協力」の実現は、何よりも、総評の政治的支持の多元化の到来をさとらせるものだった。

しかも民社党が躍進し社会党が低迷した背景には、不況下の労働協力は、社会党支持を看板とした労働戦線統一・再編成の動きによって左右されている状況があることを認めなければならない。今春闘以後進められている同盟・中立労連等による統一戦線の動向が「右より編成」の実質をしめし、労働者の投票行動が民社党善戦に大きく影響をあたえた。

なお全体として産業労働者の社会党離れの現象は、北海道一区、東京六区、和歌山二区、岡山二区等社会党候補の落選にあらわれた。

政治の流れ変り55年体制崩れる

社会変動の結果、これまで自民党の集票組織であったコミュニティー、地域主義的な府県議―市・町・村議―町内会・隣組にたるボス・チェーン・システムに大きい矛盾を生じ、支持団体が一種の利益集団（圧力団体）化したのに、これにかかわらない無党派層が動かなかったところにも今回の特徴があった。

これとともに二八選挙区でなされた公・民協力や鳥取、山口、東京での全逓、全電通との公明党の協力は、社会党支持を看板とした総評と社会党との結合を断ち切ったものである。かようにして、自民対決を主軸にした五五年体制の変化が認められるが、自民・社会の議席数の比率が大きく変化し、百七の社会党に対して、公明・共産・民社ら他野党の議席合計が百三七であることからも、五五年体制の崩壊が指摘される。

混迷切り開くか新しい中道勢力

こんこうが国の政党にとって、八〇年代に向け、都市化・産業化の展開、青年・女性の意識の変化、世代交替等の社会的変容に対応し、ふさわしい政治体制を再構築することが、さけられない任務である。しかも社会、中道（公、民）、共産の野党三極化をめぐって困難な道程が予想される。

さしあたり、社会（柔軟化する総評）、民社（同盟）、公明（創価学会）という中道寄り勢力の台頭にしたがって、五五年体制は崩れつつも、エネルギー、財政、行政改革など断片化した難問を前に、これまでと変質した保革伯仲と混迷の過渡期をむかえるにちがいない。

千里釜
―わたしも一言―

関西私大のトップに！

関関同立といわれるが、受験雑誌、週刊誌等の評価をみると残念ながら、同志社がトップであり、関学、立命、そして関大の順。大阪では一流高校ほど同志社、関学へ多く進学しているという。

私も生徒数十名にアンケートをとったことがあるが、同じ回答だった。現在は"伝統"よりも、入学の難しいほど、よい大学らしい。入学定員を減らすなど、母校当局の対策がまたれてなりません。**森正士之**（昭26学一政）。

鶴首して待つ昭16二予結集

私はD組でした。法学部に進み学徒出陣。海軍予備学生を経て任官、陸上攻撃機の操縦で沖縄戦にも参加、命からがら二十年十月に復員、復学、翌年九月に卒業しました。予科の同期生は数人、さびしかったですね。

人生の大半は現陸上自衛隊ですごしました。ヘリコプター操縦教官のち部隊長を歴任して四十七年六月に停年退官。現在、〒520-21滋賀県大津市大萱一丁目十六番十五号でのんびり、女房に養われています。

九月号の昭16二予結集の記事、なつかしくて筆をとりました。再度の呼びかけを鶴首してお待ちする。私は当時は相撲部のマネージャーでした。**深田栄三**。

新国劇に支援のともしびを

株式会社・新国劇の不渡りさわぎはショックでした。つい二、三月前の"関大"で、辰巳柳太郎さんと久井忠雄理事長の"千里春情"を読ませていただいたあとだけに思いはひとしお。

渋く、男くさく演じられるあの舞台は、関大の男っぽさにも通じるものがあるように思う。それよりも十数年前でしたか、サンケイ・ホールで演じられた、児島惟謙。なにか、えにしを感じます。

観者の一灯ながら、ぜひとも応援したいものだ。関大新聞で辰巳柳太郎さんを校友だとはじめて知ったのも、つかのま。あまりにも胸がうずきます。**西山憲一**（昭28学一法）。

関大新聞を心の励みに

東京も大阪をまねてか、いよいよ秋らしい気配で肌寒い頃です。49年度の校友ですが、毎月の"関大"を楽しみに拝読し明日への心の励みにしております。

紙面も回を経ることに充実してゆくようで喜びのかぎり、新聞発行協力金を送らせていただきます。〒113東京都文京区本郷五ノ二ノ七、小関方、**佐々木真**。

まごころかよう贈りもの
伝統の塩昆布
ひじりめ
聖芽
なにわ大市長昆布
社長　浅田　章裕（昭28学一経）
常務　酒井彦重郎（昭29学一商）

メイルボックス

"心の友"郵送十年の八五翁

十年一昔というが、教員生活をやめ明るい世作り運動を始めたときは、大阪に万国博覧会のあった昭和四十五年。はや十年になる。

全日本社会教育振興会（全社振）の寸報、葉書印刷の「心の友」の郵送をはじめた。最初は毎月、後には二月おき。北海道から沖縄まで全国各地の善意の友に、毎回二千枚以上を、一人ひとりのご多幸を祈りつつ書き続けてきた。54・10・1で八三号。私も今年で八十五歳の老境に入ったので、「心の友」の発送も年数回にさせてもらおう――合掌。〒518-01三重県上野市猪田三八二六。霍田倫夫（大13専商、昭3大商）。

落下傘降300回の校友将官！

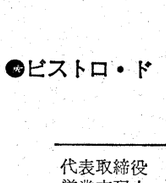
備後支部では B5判・一二ページの立派な会報一号を出された。この中に、戦後、満州から復員。一時関大に入り直され、途中自衛隊に入りの小林正信陸将補の記事が。

精強を誇る習志野の陸上自衛隊第一空挺団、一四〇〇人の隊員には降下四〇八回の猛者もいるが団長、小林陸将補の三〇〇回はランク5位。アメリカでも将官クラスでは一〇〇回程度というから、堂々たる記録である。

記念すべき三〇〇回目は正月恒例の降下訓練初めに、山下防衛庁長官の眼前で飾った。

草むらに降りるつもりだったのに、しゃへい物のないところへ降りてしまった。観衆の手前、ついきれいにと緊張したせいかな。あくる日は足がつって、と。

「だれだって高いところは怖い。第一次的な恐怖に加え、もし開かなかったら、という恐怖が二次的に生まれて増幅します。これは訓練で乗り越えるしかない」。まさに立派だ！



中国を思う

四面の新刊紹介にでる鴻山俊雄氏（昭6大法）は、昭和四十一年華僑問題研究所を設立し、月刊誌「日華月報」を出している。B5判・八ページ。その九月号（一五五号）に、含蓄のある"あとがき"をつけておられる。

鄧小平副主席はこのところ鳴りを潜めているが、そのハッスル振りは、一時異常なほどであった。身のほど知らぬ大風呂敷だと非難されても、あの時点では本心を曝け出したものであり、本人も実現可能と信じていたに相違ない。でも現実には、砂上に楼閣を建てることは不可能で、その発言も龍頭蛇尾に終わってしまった。

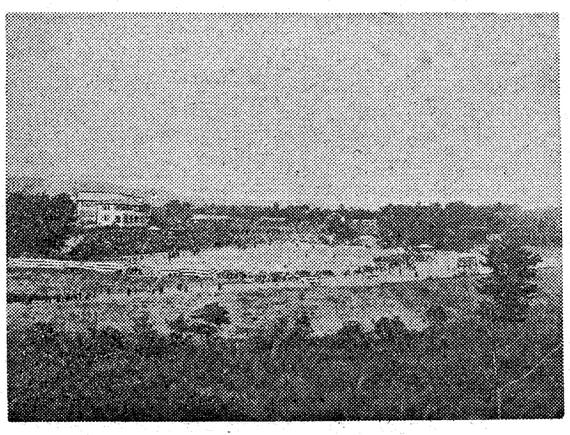
誰がみても、中国の現状では十億人民を食わせるだけで手一杯なことがわかる。それに尨大な軍事費が民生の向上を妨げ、舵取りであるべきはずの指導者間には旧態依然として権力闘争が絶えない。この三つの基本的な課題を合理的に処理できずして、中進国への発展はおろか、一足跳びの近代化などできうるはずがない。

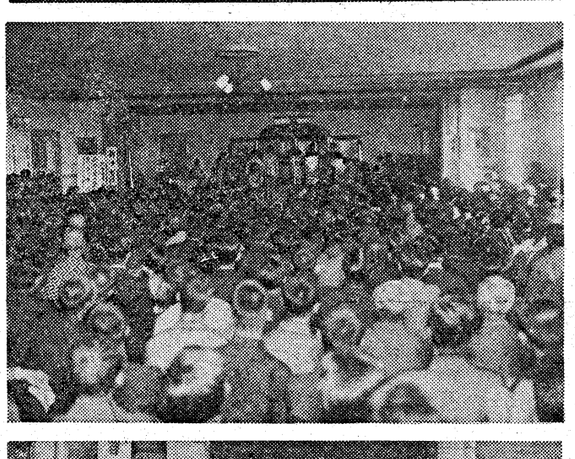
★体育OB会第二回ゴルフ大会

関西大学体育OB会では宝塚市切畑の愛宕原ゴルフ倶楽部で、十一月九日（金）午前八時スタート。大島体育OB会長杯、久井関大理事長杯争奪の第二回ゴルフ大会を開催する。

申し込み方法は、各部OB会世話係か、体育OB会の松田秀司事業部長（カーネギー商会、電話〇六―245―六三六四番）にお問い合わせ下さい。

大学祭の思い出の一コマ





〈写真上〉
樫本校友会長からは、昭和三年の上演中だ。裁判長席に若き日の樫本会長、副人席に戸根法人監事の姿もみえる。つめかける観客の人の波で、本学学生は押し出されて、みられなかったということだ。台本はすべて検閲されての、やっとの上演だった。〈写真中〉はなやかな写真は、戦後の復活第一回の大学祭のもので高田明氏（昭23大法）の提供。二十一年の六月。クラナダのバラを上演した予科生。これは宝塚少女歌劇が、その少し前に上演した衣装を、一切借りてきたという。焼け跡の町門で第一位。男っぽい、バンカラ予科生にも、やさしさに惹かれる心根（こころね）があったことを語る貴重な一葉である〈写真下〉
ひとこま。若き女性のえい児殺しの上演中だ。裁判長席に戸根法人監事の姿もみえる。つめかける観客の人の波で、本学学生は押し出されて、みられなかったということだ。台本はすべて検閲されての、やっとの上演だった。〈写真中〉はなやかな写真は、戦後の復活第一回の大学祭のもので高田明氏（昭23大法）の提供。二十一年の六月。クラナダのバラを上演した予科生。これは宝塚少女歌劇が、その少し前に上演した衣装を、一切借りてきたという。焼け跡の町門で第一位。男っぽい、バンカラ予科生にも、やさしさに惹かれる心根（こころね）があったことを語る貴重な一葉である〈写真下〉

◆体育の日に思う
健康手帳
古代ギリシャ人ヒポクラテスは、自然治癒力の覚醒が医術の原点と主張した。生活様式の諸経験から得た哲理である。紀元前五世紀に、ろ人びとは、体育訓練所の体験から医学を発芽させた。
一七一四年、貝原益軒は、生活体験から健康の社会化を訴え著書を著した。人身は至りて貴おもく、天下四海にもかへがたきものなり。身体の重要性を説いたのである。身体を適度に動かせば、安楽なるべしといった。
ヒポクラテス九十歳。益軒八十四歳。彼等の享年である。生活経験が長命をもたらした。
一八六五年、生命！それは創造であると、フランスのベルナールは生物体の存在条件が決定されていることを証明した。人間の内部・外部環境のバランスが狂えば健康を損ねる。生命力は科学に属するものでなく、自らの生げる創造力にある。
一九七九年十月九日、某新聞の投書子曰く。走る、歩く、子供に徹底を。子供のやり抜く力を体育からと、日本の将来を憂えて某小学校の校長は言う。
タケマエとホンネ。人間の営為に付きものだが、健康づくりは、随意筋を動かすこと以外にない。
体育を過小評価しているのは体育専門家自身かも知れない。体育の日の反省である。
（文学部体育学教室　助教授　伴　義孝）

歴史の香り漂う仏都
高野山
◆交　通
大阪・なんば―高野山
特急「新こうや号」約1時間40分
急行　30分ごと運転　約2時間
お問合せ　南海国際旅行　なんば(641)8686
南海電鉄

運転免許は
校友がお世話する
大阪鶴見の
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2―13
〒538　TEL(06)912―7171
担当　太田清太郎（昭29.学2法）
優待証　関大
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

友情は屢々灌漑を要する植物
明日と云はず今日より
喜怒哀楽を、
今昔を、
大平記の里
千早赤阪村森屋
喫茶
カタロ
TEL 07217 (2) 1079
共にカタロで語ろ
（昭和23 大法卒　井上武彦）

大阪の中のフランス
クリヨン
新入社員歓迎会・同窓会にどうぞ
●純フランス料理　クリヨン
新阪急ホテル北隣・北阪急ビル2F
06―372―5762
●ジャンヌダルク
新阪急ホテル北隣・ギャザ阪神6F
06―373―2325
●シェ・クリヨン
阪急グランドビル32番街
06―315―8325
●ビストロ・ド　クリヨン
阪急三番街
06―372―8174
代表取締役　小林一達
営業支配人　下村八郎
昭39年卒業生

自然と何かを始めよう。
世界の街を、大自然の中を、快適ライフの輪をひろげながら走りつづけるツバメ自転車。日本ではじめてリムを開発した信頼あるアラヤの技術が、いま自然と健康を愛する多くの人たちに親しまれています。
ツバメ自転車
新家工業株式会社
大阪市西淀川区竹島1―1
TEL 06-474-1313(代表)

総会であいさつする渡辺新会長

はなやかな一夜であった。
開会宣言に続き、現役35代団長古林昭博君のリーダーで学歌斉唱、児島会長の挨拶のあと、役員改選を行い、新会長には十二代渡辺猛氏が就任した。
渡辺氏は席上「十一月十日午後六時森之宮ピロティホールで開催される現役三十五周年記念祭にOB会も総力をあげて応援しよう」と、力強いアピールをした。
新役員は左の通り。
会長　渡辺猛（12代）
副会長　星野敏次（13代）▽松田礼三（17代）▽在間寛（21代）現役に関しては総監督に大江正則（21代）、監督に高一弘（30代）の各氏が選ばれた。
新事務局は、〒577東大阪市楠根一―三八、新英産業㈱内、渡辺猛方。

中国東北地区を訪ねて（下）

文学部教授　網干善教

清朝の往時をしのばせる北陵隆恩門（沈陽市）

「玉帯流貫」の吉林市

人口百万、三百年の歴史

末公開の資料〝特別に実見〟

八月七日午後五時三十分発の列車で、長春駅を立って約二時間。吉林市に着く。車中ご同行下さった吉林省文物局付局長王承礼先生を囲み、東方地区の考古学研究の現状の話に夢中となる。

吉林市訪問の目的は「西団山文化期」と称する遺跡見学や吉林市展覧場（博物館）などの参観である。

吉林市は長白山に源を発する松花江の中流に位置し、建城以来三百年の歴史をもつ、人口百万人の都市である。

「玉帯流貫」と表現される街は三方が松花江に囲まれ、龍潭山、小白山などが聳える。郊外には有名な人造湖、松花湖もある。

解放前は潤沢な消費都市にしか過ぎなかったが、二十年来の努力によって、工業、特に化工、電力生産の中心地として活気を呈している。それだけに日本の工業都市と同様、公害問題が起こっているという。

網干　教授

吉林市では二か所の遺跡を見学した。一か所は吉林市街から北方約十五㌔にある猴石山遺跡である。ここには、西団山文化期の墳墓群があり、また近年松花江に面する景勝地で住居跡群が発掘された。

西団山文化とは、後に述べる西団山遺跡を標式とする新石器時代晩期、すなわち中原の春秋・戦国時代に対比できる箱式石棺を主とした遺跡である。猴石山遺跡もこの文化期に相当し、丘陵の南斜面に箱式石棺が数十基検出された。

私たちが見学したときは、そのうち数基がまだ埋設されておらず、遺存状態を知ることができた。そのなかのM十九号墓は、石棺内に仕切りをつくり、副葬を設けてあった。

猴石山遺跡の特色は、墓地のある反対側の斜面に、住居跡群がある。この場所は眼下に大きく迫する松花江を見降ろす眺望のよい立地。急傾斜であるため、住居跡群は階段状につくられている。そのうち、発掘調査の済んだ一戸の住居跡を見学した。七×五㍍位の長方形プランをもち、低い側の三方は石積み、丘陵側の一方は岩盤を掘り込んでいる。中央の辺りには石組みの炉跡もある。出土遺物としては石刀、石斧、紡錘車、土錘などの生産用具のほかに壺や甕などの土器も出土した。松花江に面するから漁業も行っていたであろうが、生産活動は主体はやはり農業であったとの説明である。

出土品は、現在整理中で未公開の資料であるが、特別の配慮によって、吉林市展覧館の一室で、実見し、発掘に従事された陳家槐先生から説明をうけることができた。

吉林市街眺め故郷を連想す

次の日は有名な西団山遺跡を見学した。位置は吉林西郊約八㌔の地点の丘陵上にある。

解放後、一九四八年には吉林師範大学、五〇年には東北考古発掘団、五三年には吉林省博物館、五五年に吉林大学によって発掘調査が行われ、約五十基の墳墓を検出、多量の出土遺物があった。

立地は吉林市街を透望できる独立丘上の景勝地にあって、墳墓の構造は主として箱式棺群である。

石棺は長さ二㍍ほどで、四方の側壁は扁平な石材を小口積にし、底石と蓋石は板状の石材を用いている。なかには仕切りをした副室状のものもあったという。

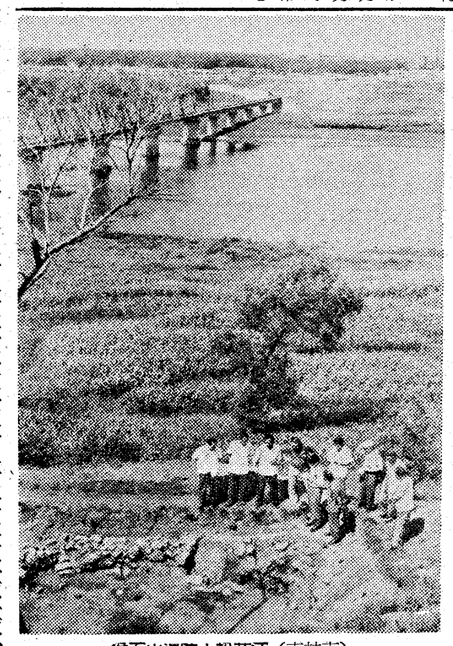
石棺の方向は遺骸の頭をほぼ東北に置いている。副葬品としては石斧、石鏃、石匙ナイフ、土錘、土製紡錘車や供献された豚の骨なども出土したという。

見学後、丘陵尾根を降りながら立地からみて、未調査区域であるが、住居跡があるのではなかろうかと話し合った。

吉林市展覧館には一九七六年三月八日午後、突如として吉林地区に降下して世界史上稀といわれる隕石のすべてが展示されていた。またその物理的、化学的研究の成果も示されていた。

遺跡見学の途中、市街を一望できる北山公園や龍潭山鹿場を見学。北山公園の鷲亭の八角建物を見て、飛鳥の中尾山古墳の八角墳のことを考え、龍潭山麓に放牧される鹿場をみて、奈良公園の鹿群を想い出した。

吉林省での学術交流を終わり、八月十日遼寧省社会科学院の招請をうけ沈陽市に向かった。午後一時四十分発北京行の特急列車に乗り、約四時間、五時二十七分沈陽駅に着いた。駅頭で遼寧省社会科学院・石光先生ら、遼寧大学・宋佑燮先生はじめ諸先生の歓迎をうけた。


猴石山遺跡と松花江（吉林市）

「日本通史」の日中交換約す

沈陽市は遼寧省の省会である。ただ沈陽市と聞き、読んでもとのような都市であるかはすぐ解らないが、沈陽の表記は中国の簡体字で、本来は瀋陽市である。解放前の「奉天」であるといえば、戦前の方であれば承知されているであろう。

沈陽は清朝の古都。沈陽故宮や東陵、北陵などの遺跡がある。現在は人口四百五十万、大工業都市である。

宿舎は「遼寧賓館」、すなわち「旧大和ホテル」といえば思い出される方もあろう。

沈陽市では大庭俊教授の講義が行われた。省社会科学院、遼寧大学、省博物館などの研究者約三百人が受講され、盛会であった。

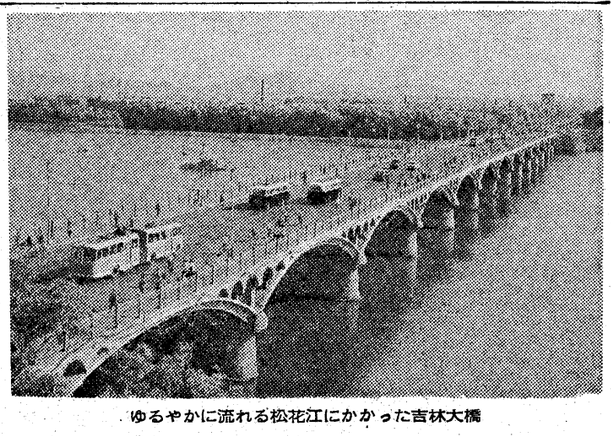
大学に関していえば遼寧大学には歴史研究所が置かれ、昨年から大学院（研修部）も開設された。主として「清朝史の研究」が中心となっている。また、日本研究所があって、現在約三十人のスタッフで、日本歴史・文学・経済・政治のグループで活発な研究がすすめられている。日本歴史グループでは「日本通史」が近刊されるという。昨年、関西大学では綿貫哲雄先生が執筆した日本史要説（創元社刊）を出版した。日本の研究者が書いた日本通史と、中国の研究者が書いた日本通史を交換しようという約束もした。意義あることだと思う。

遼寧大学では日露戦争に関する史料や旧満鉄関係史料の収集も行われていると聞いた。

日本経済の研究では、基礎理論のほか企業管理、高度成長論などが主としたテーマであり、日本文学研究は翻訳が盛んに行われているという。日本の図書は約八千冊を蔵し、新聞・雑誌は約百種類を集めているということ。

「もっと討論する時間がほしい」という要望に応えて、夜、大庭教授の部屋に日本研究所の有志の先生方が集まられた。大庭教授と私が出席し、深夜に及ぶまで内容の充実した話し合いをもつことができた。特に日中関係史の研究の将来について、交流を強く要望され、その責任を痛感した。

沈陽での見学のうち三つを紹介しておこう。


ゆるやかに流れる松花江にかかった吉林大橋

副葬品の馬具に貴重な意義

一つは、遼寧省北票県西官營子で発掘された北燕時代の馮素弗（ふうそふつ）墓から出土した木心金銅張の鐙（あぶみ）＝馬具の一具）を実見することができた。

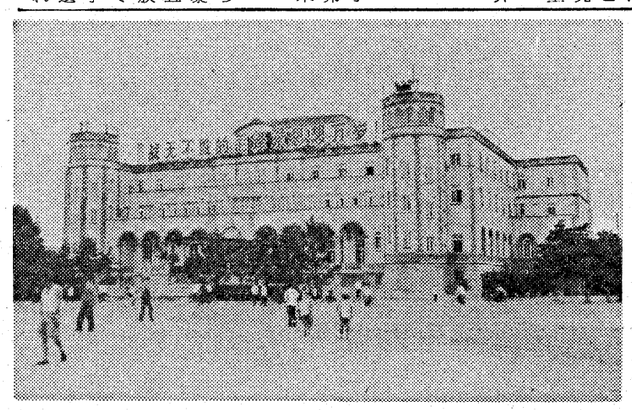
この墳墓は一九五五年九月から十一月にかけて遼寧省博物館の黎瑤渤先生らが発掘されたもの。五胡十六国のうち北燕国の官僚貴族であった馮素弗とその妻属の墓である。多量の副葬品が出土し、学界の注目をあつめた。それらの遺物のなかに、この馬具がふくまれていた。

私は北京に到着してすぐ、中国社会科学院の方に、遼寧では是非この馬具を見せてほしいと依頼した。その要望に応えて、遼寧省博物館の特別の配慮によって、実見することができ、直接発掘調査を担当された黎先生から説明をうけることができた。

なぜ私が特に請うてこの馬具を見たいと申し出たかという理由。それは日本の古墳から馬具が出土する。だが私の見解ではそれらは五世紀中葉以後のものと思う。ところが北燕国馮素弗墓の馬具は五世紀初頭頃のもので、日本の馬具に先行する。さすれば日本出土の馬具の源流ということになり、しかも木心金銅張である点、資料の重要性がある。

今回実見した馮素弗墓出土の鐙に対し、さらに詳細に検討を加え、論考してみたいと思う。

もう一つは清朝の遺跡である。いうまでもなく清朝は、満州族であったヌルハチが、その周辺を統一して一六一六年に建国した。清の太祖である。初期の頃は後金と称したが、二代太宗は国号を清と改め、三代世祖は中原に入り、明の宮城であった北京紫禁城に遷都した。一人は医科大学の学生であるという。もう一人は「私は労働者です」と自己紹介した。他の一人は「私の母は日本人です」といった。三人とも二十歳前後であるが、「今、一生懸命日本語を勉強しています」といった。何とかして日本語を学びたいという意欲がみえた。彼等の質問は「日本のどこに住んでいるか」「どんな仕事をしているか」「沈陽の印象はどうか」といった内容であったが、非常に好感のもてる青年たちであった。このような若者が日本を理解し、成長してくれるならば、将来の日中友好の絆は強くなるであろう。そう願わずにはいられなかった。


遼寧賓館――かつての「大和ホテル」

訪中に多くの新知見を得る

沈陽から空路北京にも戻った。列車で行けば約十時間を要するが、飛行機ならば約二時間。国内線の航空機は小型である。私たちの搭乗機はイリューシン14であった。

北京空港には中国科学院歴史研究所長熊德基先生らが出迎えて下さった。

ひとまず宿舎の北京飯店に落ち着く。天安門の東側、東長安通に面しており、北京最高の格調高いホテルである。以前の訪中の時も数日間滞在したことがある。西側の窓から雄大な紫禁城から人民大会堂が一望できる。

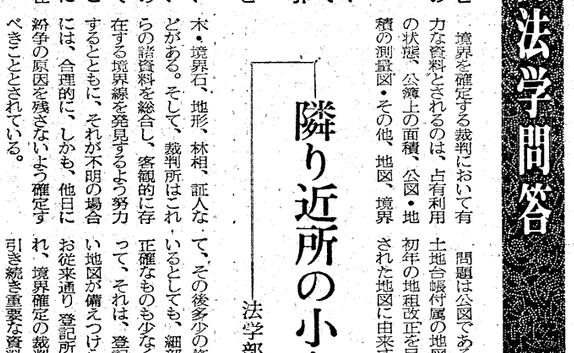
北京では中国社会科学院歴史研究所主催の講演会や同考古研究所、北京大学を訪問、歴史博物館や故宮博物院、頤和園などを見学した。

考古研究所では、今年六月二十三日、関西大学に来て下さった所長の夏鼐先生はじめ付所長の王仲殊先生ら研究所員の方々に、各自約四〇分程度、最近の研究成果を発表し、そのあと討議を行った。

北京大学では歴史系教授（考古学）の宿白先生や東方語系主任の孫宗光先生らと意見を交すことができた。宿白先生もかつて来日されたことがあり高松塚壁画についてご意見を拝聴したことがある。今回は飛鳥峯生子塚出土の七宝金具に関して、中国側の古代七宝技術の資料について教示を得た。

故宮博物院では河北省平山県にある戦国時代の豪華な出土文物特別展覧を見ることができた。歴史博物館では史樹青先生の案内で、旧石器時代から現在に至るまでの体系的に展示を見学し、多くの新知見を得た。

私たちの帰国に際して夏鼐先生や熊德基先生らが公務多忙のなかわざわざ空港までお見送り下さったことは光栄の至りであった。ただ台風の影響があって、フライトできず、その夜は空港ホテルで一泊することになった。（了）



予防法学問答

隣り近所の小さな紛争（下）

法学部教授　槙　悌次

問　境界線の位置・角度が公図と異なっているので修正したいとの申し入れを隣人より受けている。不利なので拒絶してよいか。

答　隣地との境界が明らかでないときは、終局的には裁判によって確定してもらうほかはない。境界確定の訴と呼ばれるものであり、それは地番の異なる甲地と乙地との間において、甲地がAの所有、乙地がBの所有であることに争いがないものの、その境界線について争いがある場合に行われるものである。当事者が境界線について協定を結んでいた場合、これをこの裁判においてどう取り扱うかについては、むずかしい問題が存在する。

境界を確定する裁判において有力な資料とされるのは、占有利用の状態、公簿上の面積、公図・地積の測量図・その他、地図、境界木・境界石、地形、林相、証人などがある。そして、裁判所はこれらの諸資料を総合し、客観的に存在する境界線を発見するよう努力する。

問題は公図であるが、これは旧土地台帳付属の地図であり、明治初年の地租改正を目的として作成された地図に由来するものであることは確かであるが、決定的な基準とされているわけではなく、他に客観的な資料があれば、それとの総合的・合理的な判断の問題となってくる。

もちろん、各具体的な事件における判断の仕方は多様であり、客観的に存在する境界線の発見のためには、何よりもまず地形や占有状態、特に境界線付近の建物、塀、雨水溝などの位置に注目した例があり、また、逆に、それがなくとも境界線を明らかにできる特別の事情が存在する場合を除いて、隣接土地の公簿面積と実測面積との関係を資料とすべきだとした例や、公図は境界線の方向が直線であるか否かについて比較的正確な資料となると評価した例も存在する。また、公図は各筆の土地のおおよその位置関係や境界線のおおよその形状についてその特徴をかなり忠実に表現しているのが通常であるとして、これと異なる認定をするには特別の理由が必要であると判示した例も存在する。もちろん、公図だけによる主張に対しては、他に客観的な資料のあるかぎり、拒否して差し支えないであろう。

なお、公図の記載と現況が著しく異なっている場合につき、それとのズレを示す現況部分を時効取得の問題とした例も存在する。したがって、時効に要する期間（一〇年と二〇年の場合が存在する）、その部分を自己の物だとして占有を継続してきた者は、時効による所有権の取得をも主張し隣人の申し入れを拒絶するのが普通である。

ついでながら、田舎では実測面積が公簿面積より大きい「縄のび」が、都会ではその逆の「縄ちぢみ」がしばしば見受けられるところであるが、もちろん、隣地との境界は各種の資料を総合して合理的に決定されるわけであり、公簿上の面積や公図から算出された地積が決定的な資料になるとかきったものではない。したがって、両者の土地が同一地番から分筆されたものである場合などにおいては、それが境界の確定について極めて重要な資料になると評価されてはいるものの、そうでない場合については、特に資料とされなかった事例も存在する。

◇　◇

新聞発行協力金協賛者芳名

（校友会事務局で受付順）

大江清一（昭44）、守屋直美（昭48）、森口常光（昭34）、戸川恵嗣（昭48）、長岡博（昭29）、盛岡重敏（昭54）、森本久（昭41）、村山保男（昭53）、森川泰治（昭34）、森内純吾（昭7）、守山愛森（昭42）、大幡治道（昭13）、池田順一（昭31）、大塚靖（昭31）、荒井政治（昭24）、天井作次（昭25）、大畑秀夫（昭18）、大西雅幸（昭37）、板谷敏雄（昭9）、石原美之（昭46）、泉本正隆（昭37）、宇賀俊明（昭50）、宇野貞一郎（昭27）、大塚久生（昭46）、大江清一（昭44）、大西高幸（昭53）、大川智恵子（昭13）、岡崎啓甫（昭38）、大田雅一（昭44）、大谷朝雄（昭31）、尾中治（昭34）、河盛幹治（昭19）、川端孝嘉（昭28）、木田秀（昭50）、小嶋龍太郎（昭9）、杉山徹（昭45）、末広吉美（昭54）、菅勲（昭37）、砂山比佐子（昭37）、園延章（昭54）、武田木雄（昭19）、田中武則（昭53）、立入信彦（昭44）、寺西佳行（昭44）、寺内八郎（昭47）、槻本正行（昭52）、竹川喜郎（昭47）、鶴本喜久雄（昭45）、豊田喜郎（昭26）、富田隆滋（昭49）、徳永清司（昭35）、中岡保（昭11）、中原一裕（昭15）、中谷英章（昭50）、奈良橋太郎（昭35）、西田誠（昭46）、西尾康（昭28）、中西実明（昭23）、難波敏（昭49）、中上光雄（昭23）、成瀬晴久（昭50）、中野留吉（昭6）、長井暁（昭44）、西川敏春（昭12）、長井正夫（昭47）、橋本正志（昭46）、中村誠伺（昭41）、林富美子（昭54）、福田敏幸（昭47）、長谷川茂夫（昭44）、秦純（昭45）、林口芳弘（昭53）、東真徳治（昭50）、原田水信（臨16）、浜野洋一（昭47）、福島修（昭50）、長谷川醤（昭44）、浜野卓一（昭54）、北條佳則（昭52）、藤原説太郎（昭46）、久武（昭16）、原肇（昭40）、橋上猛（昭54）、原正彦（昭50）、浜田八逸（大15）、馬淵英一郎（昭51）、村田英（昭22）、松田政夫（昭50）、森田文一郎（昭11）、森松俊彦（昭13）、増田稔穂（昭14）、満田久晴（昭48）、真島幸子（昭51）、村松満（昭53）、森田道昭（昭34）、村田鎮昭（昭34）、桝谷和宏（昭43）、村上俊次（昭43）、村上正男（昭50）、森田義雄（昭16）、旦運賢一郎（昭21）、増原義高（大11）、前田孝司（昭41）、村上健一（昭18）、守屋直美（昭48）、山野寛（昭18）、吉崎幸孝（昭38）、山田実（昭47）、山本三郎（臨16）、吉川裕造（昭45）、山田浩（昭30）、山口晋（昭28）、赤坂智平（昭26）、荒木壮治（昭34）、浅井五郎（昭7）、浅野勝（昭41）、麻生川章（昭29）、石川好男（昭36）、井上裕視（昭38）、乾淳子（昭46）、井上淳子（昭51）、上田健蔵（昭41）、上田博造（昭52）、浦田善之（昭10）、榎原武雄（昭18）、岡矢忠彦（昭46）、尾崎隆（昭34）、岡本善文（昭46）、尾崎隆（昭45）、大倉幾三郎（昭39）、音島茂蔵（昭16）、大倉滋男（昭45）、河村政彦（昭16）、太田登男（昭45）、木下忠夫（昭8）、韓孝卓（昭45）、北村政蔵（昭7）、吉川幸夫（昭50）、岸田正明（昭50）、北尾博義（昭38）、北川俊治（昭45）、岸本正純（昭34）、近藤一郎（昭31）、小西敏雄（昭36）、小林俊正（昭41）、小林重隆（昭54）、小西隆郎（昭41）、小林俊志（昭47）、小村博（昭51）、白山哲朗（昭27）、塩見能和（昭44）、鎮目泰昌（昭50）、鈴木忍（昭53）、杉本収（昭40）、住田育三（昭44）、白上弘子（昭52）、清家治雄（昭54）、多田稔（昭27）、高屋勝（昭51）、田中和夫（昭17）、田中繁夫（昭46）、坪井一宇（昭37）、積川敏文（昭45）、寺田修（昭25）、徳田重義（昭16）、富久恭行（昭39）、豊木昇（昭47）、豊田晃秀（昭54）、中村康夫（昭41）、中村忠義（昭33）、中山幸政（昭38）、中野寛成（昭38）、中正平（昭24）、中崎宗中林能里子（昭47）、中村昇（昭51）、中庄平（昭39）、白水駿一（昭6）、花田正利（昭48）、橋本光宏（昭53）、長谷川保夫（昭22）、橋長毅（昭48）、白石裕（昭40）、原田愈（昭13）、原一馬（昭28）、平峰巨（昭19）、平井美水（昭35）、福島徳太郎（昭1）、福井康（昭44）、福田憲弥（昭12）、細川生男（昭11）、前田昌利（昭41）、松田良雄（昭54）、前田篤蔵（昭7）、松本朗（昭53）、前田俊一（昭44）、村上繁博（昭45）、向井裕晃（昭10）、村上郁男（昭43）、森本茂雄（昭46）、森俊夫（昭14）、森広一（昭48）、森本俊夫（昭46）、山口多賀蔵（昭5）、山口弘（昭44）、山本公次（昭51）、山口孝司（昭50）、吉田武夫（昭35）、依田六郎（昭6）、脇川利昭（昭44）、渡正純（昭53）

新刊紹介

鴻山俊雄（昭6法）
神戸大阪の華僑
在日華僑百年史

神戸・大阪に中国人が多いことは誰でも知っている。その数二万人ともいわれ、なかには小説家の陳舜臣、宝塚スターの鳳蘭のような有名人もいる。しかし、華僑の移り変わり、生活、風俗について、はほとんど書かれたものがない。鴻山氏は幼少の頃から、清朝末期の亡命政客と関わっていた父君通じて中国に目を開かれ、さらに昭和六年、本学法科を卒業後は、中国大陸に往来したり神戸の官庁で通訳の任に当たられるなど、七十二歳の今日に至るまで中国人と深い交際をもってこられた。氏の旧著「神戸と在留中国人」（昭和二九年）で神戸在住華僑の状況を断片的に紹介されたのを、かつて私は興味深く読んだことがあるが、今回のものは系統的に、より詳細に華僑の歴史や風俗習慣を伝えてくれている。

前編では、慶応三年の開港から現在までを七期に分け、神戸・大阪の居留地の状況、華商の貿易の推移、神戸に立ち寄った政治家や文化人（孫中山、梅蘭芳など）との対応が、時に著者自身の関わったエピソードをもまじえ、写真をも添えて淡々とした筆づかいで書かれている。後編では、彼らの商業・文化・風俗習慣から犯罪にいたるまで、明けっぴろげに語られていて実におもしろく、教えられることが多い。北京料理というがは山東省出身の料理人が作っており、理髪業は揚州人の専業、洋服商は男物には寧波人が、女物には上海人が従事していること、遺骸は必ず故郷に送って埋葬する習慣が守られていたことなど、まことに微に入り細にわたっており、著者ならではの記述である。

さて、自序で著者がいうように、このような書物は本来、華僑みずからが書くべきであろうし、また横浜・長崎についても書かれるべきだろう。本書が機縁となって、この分野の学問的な調査研究が進むことを願ってやまない。

A5判・二四六㌻。華僑問題研究所＝神戸市生田区山本通五一六七　電話〇七八―341―八九八五＝刊。二、〇〇〇円

（文学部教授　坂出祥伸記）

大まぐろで25周年行事

西成支部企画部
成記念

一匹の大まぐろを、二、三百名の校友で味わいましょう！　西成支部が、食欲の秋に、創立二十五周年記念行事として打ち出しているユニークな企画である。

同支部では年賀交換会、ゴルフコンペ、工場見学、市民大学など多彩な集いを開いてきた。今回は支部会員の佐久間正純氏（昭17専二経）の奥さんの里が、紀南・勝浦のまぐろ船の網元であることから、〝同じ釜のめし〟ならぬ大まぐろで舌鼓を打とうというもの。十一月二十五日の日曜日の午後二時から、西成区千本中一の西成産業会館で。家庭へのお持ち帰りも含め会費は四千円。

近く学長、理事長、校友会長をはじめ大阪市内の各支部長に案内状が出されるが、なにぶんにも、参加者数が決まらないと、〝まぐろ〟が確定できない。早い申し込みを待っているという。

申し込みは
〒557 西成区花園南一―五―六。電話〇六―661―四一一三番。松岡政彦幹事長まで。

若者たちこそ友好のきずな

早朝、宿舎前の紅旗広場を散歩

都市交通と経営参加

2011月　第66回産業セミナー

関西大学　経済・政治研究所の第66回産業セミナーは、十一月二十日（火）午後二時から五時まで、阪急グランドビル26階会議室で開講される。

今回は「都市交通」と「経営参加」という、あまり相互関連性はない二つの演題だが、ともに重要な、そして現代的なテーマ。

▽行きづまる公共交通
―都市と交通を考える―
商学部助教授　三上　宏美

▽現代企業と経営参加
―西ドイツの経営参加を中心として―
商学部長・教授　大橋　和一

――◇――◇――

申し込み　聴講は無料。来場を歓迎しているが、会場の都合により先着九〇名。はがきに「氏名・勤務先（その住所）・電話番号」を記入のうえ、〒564吹田市山手町三、電話〇六―388―一一二一番（内線九五二）関西大学　経済・政治研究所へ、十一月十日（月）までに。折り返し入場券が送られる。

上野城趾と芭蕉の遺跡

事業部見学会のお知らせ

校友会事業部の第十回見学会は、十一月十八日（日）伊賀上野城趾と、芭蕉の遺跡〝蓑虫庵〟や、剣豪荒木又右衛門の〝鍵屋の辻〟など、周辺の史跡を訪ねる。解説は関大文学部、横田健一教授。

申し込み　十一月五日まで。住所・氏名に会費（昼食代を含め四千円）を添えて校友会事務局へ。先着五十人。原則として校友優先。希望者は早い目に申し込みを。

上高地の秋

山内もと子（昭45学一英）

今頃はあの山も
黄色くなってるだろう
かっは橋の下を流れる川は
一層冷たく手足を
しびれさせることだろう
上高地の秋　それは
何ともの哀しく美しい姿
白樺は尚よりそうに
そこ一面に立っているだろう
軽井沢の白樺よりも
ちょっと淋しいけど
野性味がある
そんな上高地の秋だった

前編では、慶応三年の開港から現在までを七期に分け、神戸・大阪の居留地の状況、華商の貿易の推移、神戸に立ち寄った政治家や文化人（孫中山、梅蘭芳など）との対応が、時に著者自身の関わったエピソードをもまじえ、写真をも添えて淡々とした筆づかいで書かれている。後編では、彼らの商業・文化・風俗習慣から犯罪にいたるまで、明けっぴろげに語られていて実におもしろく、教えられることが多い。北京料理というがは山東省出身の料理人が作っており、理髪業は揚州人の専業、洋服商は男物には寧波人が、女物には上海人が従事していること、遺骸は必ず故郷に送って埋葬する習慣が守られていたことなど、まことに微に入り細にわたっており、著者ならではの記述である。

さて、自序で著者がいうように、このような書物は本来、華僑みずからが書くべきであろうし、また横浜・長崎についても書かれるべきだろう。本書が機縁となって、この分野の学問的な調査研究が進むことを願ってやまない。

A5判・二四六㌻。華僑問題研究所＝神戸市生田区山本通五一六七　電話〇七八―341―八九八五＝刊。二、〇〇〇円

（文学部教授　坂出祥伸記）

商標　登録　和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556 大阪市浪速区新川3丁目661番地（難波府立体育会館南通り公園前）
電話　631―6565　641―1665（代）　641―6565
山本雅巳（昭和53年法学部卒）

喫茶　ベカ　地下鉄東梅田・日興証券ビル B1　電313―6774

脂肪太りが気になる方　特に肥満体質の方に最適
冷やして飲んでも最高です。
美容健康茶
●赤ちゃんからお年寄までおいしくお飲みいただけます。
●中華、和・洋食等どんな料理にも合った、美容健康茶です。
ティーバッグ新発売!!
ティーバッグ(20袋入) 850円
ティーバッグ(50袋入) 2,000円
お徳用箱(130g入) 1,500円
中國皇茶　楊貴妃
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・健康自然食品店・お米屋・スーパー……品切れの節は、弊社までお申込みください。
●試供品をお送りします。ハガキで弊社まで……
試供品請求係　お申込みは―輸入総発売元　株式会社タムラ
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル☎(06)373-2101(代)

しっしん・かぶれ　かゆみに…
オイラックスS 10g
オイラックスS
〈軟膏〉10g・20g・30gチューブ入り
Geigy　フジサワ
この医薬品は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください

通運業・一般貨物自動車運送業（運輸省免許）
大同通運株式會社
取締役社長　西村治三郎
取締役副社長　西村太一
専務取締役　西村末治
本社　尼崎市城内二・電話大阪(488)一六五一～四
支店　尼崎港支店・電話川西池田支店・電話池田(59)二一三七
尼崎支店・電話(429)488
塚口支店・電話(429)429
西宮支店・電話西宮(22)一一五一～八
伊丹支店・電話伊丹(82)四七四四～五
福知山支店・電話福知山(22)三五〇二
名古屋支店・電話名古屋(612)三三三三

コンピュータ時代をリードする―
印刷の東洋紙業
●営業品目
オフセット・活版・グラビヤ各種印刷
オフセット輪転印刷・電算機用品印刷
紙器・紙袋他各種包装資材の
企画・製造・販売・出版
最高の印刷技術と総合企画
東洋紙業株式会社
取締役社長　朝日多光
大阪(芦原・平野・美原・東大阪)・東京(南品川・横浜)・広島出張所・札幌
本社(06)562―0051・東京支社(03)474―3251・広島(0822)46―7972

中尾フィルター工業株式会社
取締役社長　中尾善宣
大阪市北区芝田一ノ四ノ八(北阪急ビル七階)
電話　大阪(〇六)三七二一二〇四三番(代表)
西宮市北昭和町一四―二一
電話　西宮六五―三五〇三番